

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【338】

2. 日 時：令和4年12月14日 13時30分～16時30分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、津金主任安全審査官、
千明主任安全審査官、三浦主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、
中村主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、谷口技術参与、
植木技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他23名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁ツガネです。それでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めたいと思います。中国電力の方から説明の方をお願いします。
0:00:14	中国電力の内藤です。本日の進め方ですが、まず中央制御室タイ遮への耐震計算書についてご説明させていただき質疑。
0:00:24	行わせさせていただきまして一旦区切った後に浸水防護施設、
0:00:30	のうち、
0:00:31	新規説明の部分について本日ご説明したいと考えております。
0:00:35	進め方はそれでよろしいでしょうか。
0:00:38	規制庁津田です。はい。了解しました。
0:00:43	それでは資料確認に移ります説明者変わります。
0:00:48	中国電力宮岡です。それではまず、資料の確認をさせていただきます。
0:00:53	資料はすべて 12 月 8 日に提出したのとなっております。
0:00:57	18 件となっております、ナンバー 1 が回答整理表として N-S にオカ 256 となります。
0:01:05	続いてナンバー 2 として、補正図書、N-S2.2、18 に近い 01、
0:01:12	ナンバー 3 として補足説明資料、NS を 0271068 の会 01。
0:01:20	No.4 は、1 成果リストとしまして N-S2 ほか 239 回 02。
0:01:26	No.5 が回答整理表として、N-S に他、
0:01:31	23108、
0:01:33	No.6 が補正図書として N-S2.2。
0:01:37	01101 回 01。
0:01:40	No.7 が補正図書として N-S2.301501 回 03。
0:01:46	No.8 が製造所として N-S2.30158、SPART として、1、No.9 は補正当初として N-S2.201112。
0:01:58	No.10 が補正当初として N-S2.201113。
0:02:03	No.11 が厚生労働省として NS2.301508。
0:02:09	No.12 が補正図書として N-S2.301509。
0:02:14	No.13 が補正と補正当初として N-S2.301516。
0:02:20	No.14、
0:02:21	が、補正当初として N-S2.301517、
0:02:26	No.15 は補足説明資料として N-S2 を 027、18 回 10 人。
0:02:33	No.16 が補正図書として N-S2.201411。
0:02:38	No.17 が補正として N-S2.201414。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:43	最後No.18 が補足説明資料として、N-S2 を 0 に 71090 となります。
0:02:51	資料は以上となりますがおそろいでしょうか。
0:02:56	規制庁津川ですはい大丈夫です。
0:03:01	はい。それではまず、中央制御室待避者の耐震計算書につきまして、コメント回答さしていただければと思います。
0:03:10	まず、治療、一番の 1 ページをお願いします。
0:03:17	指摘事項に対する回答整理表のうち、No.1 について回答いたします。
0:03:23	コメント内容としては、基礎ボルトの応力評価について、QSTコンクリートの混乗破壊により次⑨せん断荷重の評価内容を説明すること。
0:03:33	となります。
0:03:35	回答としては、資料 2 番の押し 29 ページをお願いします。
0:03:48	もし、29 ページの両括弧 2 より、
0:03:51	QSTは、
0:03:53	せん断荷重方向の側面における根性破壊面の有効投影面積、QCから決まり、
0:04:00	A級Cは減り空き寸法Cから決まります。
0:04:04	本評価における基礎ボルトにおいては減り空きがないため、中が非常に大きな値となり、結果として、永久歯QAⅢも大きな値となります。
0:04:14	ナンバー1 の回答については以上となります。
0:04:19	コメント回答につきましては 1 問 1 等で詰めさせていただければと思っておりますのでまずはNo. 1 について、コメント等あればお願いいたします。以上です。
0:04:34	規制庁谷内です。コメント、了解いたしました。
0:04:41	はい。続きまして、
0:04:43	資料一番の 1 ページをお願いします。
0:04:48	ナンバー2 について回答いたします。
0:04:53	コメント内容としては、基礎ボルト接合ボルトの応力評価について、
0:04:59	許容力を評価する際に対象となるボルトの本数を説明することとなります。
0:05:05	回答としては、資料 2 番をし、36 ページをお願いします。
0:05:16	投資 36 ページの 1 ポツ 4 ポツ 3 の表の注記に許容力算出に用いているボルトの本数を明記いたしました。
0:05:26	ナンバー2 の回答については以上となります。
0:05:48	中国電力宮岡です。No.2 につきましてはコメント等ございますでしょうか。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:53	規制庁津村です。基本的にこれで結構だと思います。
0:06:01	はい。続きまして、
0:06:02	資料一番の1ページに戻っていただければと思います。
0:06:08	ナンバー3とナンバー7についてあわせて回答いたします。
0:06:14	コメント内容としましては、中央制御室待避室における空気漏えい量の算定について、待避室の貫通部及び扉に対する考え方を説明すること。
0:06:25	となります。
0:06:27	回答としては資料3番のをし、11ページ、12ページをお願いします。
0:06:43	11ページに、
0:06:45	遮へい気密扉の設備概要を記載いたしました。
0:06:49	遮へい気密扉は、中央制御室待避室のバウンダリを構成し、扉本体及び扉枠に、リーダーを使用することで、遮へい性能、
0:07:00	JISに規定される気密しようとすることで、気密性能を担保しております。
0:07:06	概略構造を図の2-7に示しております。
0:07:11	遮へい気密扉は、想定する地震動に対し、えんじ及び締付装置について応力評価を行い、構造成立性を確認しております。
0:07:21	詳細を資料3番の、
0:07:24	紙48ページ以降に示しております。
0:07:27	資料3番の48ページをお願いします。
0:07:46	49ページに、
0:07:48	遮へい気密扉の構造計画を示します。
0:07:53	遮へい気密扉は、片平木田台の、
0:07:56	鉄製の扉とし、扉に設置された門を補正の扉枠に差し込み、
0:08:02	扉と扉枠を一体化させる構造としています。
0:08:06	また、扉と扉との接続は、金城岡井する構造としております。
0:08:12	51ページ。
0:08:14	に示すフローにのっとして評価を実施いたしました。
0:08:20	続いて、55ページ。
0:08:23	の3ポツ3に示す通り、
0:08:27	固有振動数は20Hz以上であり、構造であることを確認いたしました。
0:08:35	続いて、56ページ。
0:08:37	に示す設計用地震力を用いて、評価部位であるヒンジ部、門部を評価した結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:46	73 ページに示す通り、発生値が表限界以下であることから、
0:08:51	遮へい気密扉が 5 ページに示す通り、構造健全性を有することを確認しております。
0:08:59	続いて、資料 3 番をし、12 ページをお願いします。
0:09:14	12 ページに貫通部の概要を記載いたしました。
0:09:18	中央制御室待避室には、
0:09:20	中央制御室待避室への空気の供給。
0:09:24	中央制御室体質からの空気の排出等を目的とした。
0:09:28	配管敷設のための貫通部だ。
0:09:31	天井部及び壁部に設けられています。
0:09:35	貫通部には、あまりITER及び鋼板を使用したスリーブ、及びボックスから構成される構造物を配置し、
0:09:43	配管経路をランク構造とすることにより、遮へい性能を担保しております。
0:09:49	また、貫通部遮へい体は、溶接接合または耐火シールにより、
0:09:54	貫通部、遮へい体と配管との取り合い部はシリコンゴム等の充填により、
0:09:59	貫通部の規律性能を担保しております。
0:10:04	No.3No.7 の回答については以上となります。
0:10:22	規制庁堀野です。貫通部については
0:10:26	ちょっと追加していただき、
0:10:28	遮へい、それから機密の機密性で十分だということがわかりました。どうもありがとうございました。
0:10:40	規制庁の山浦ですけど。
0:10:43	3 番の資料の通しの 11 ページに、
0:10:50	遮へい気密扉の概略構造図とあるんですけども、
0:10:55	これは気密扉なので、
0:10:58	漏えいのことを問題にしてる話ですので、当然扉と、
0:11:05	扉枠の間に
0:11:08	気密ゴムとかそういうのが入って、
0:11:12	気密性を確保してると思うんですけども、
0:11:15	それに対する記述とか絵がな、ないんですけどその付近を、
0:11:20	追加していただけないでしょうか。
0:11:25	中国電力宮岡です。少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:32	中国電力新岡です。おっしゃる通り機密用のゴム等が設置されておりますので、こちら記載については拡充したいと思います。以上です。
0:11:42	はいよろしくお願いします。それから、
0:11:45	12 ページ
0:11:48	貫通部というところの上から 3 行目で、
0:11:51	貫通部には鉛いた [] 及び鋼板を使用したスリーブ及び、
0:11:57	ボックスから構成されてるとのことなんですけど。
0:12:00	これ、
0:12:02	鉛イイダと鋼板というのはこれ位。
0:12:05	一体の構造になったものなんでしょうかそれとも、
0:12:09	部位ごとに分かれてるようなものなんでしょうか。ちょっと、どのように使われてるかっていうのがわからないので説明してください。
0:12:19	中国電力宮です。少々お待ちください。
0:12:34	中国電力宮岡です。
0:12:36	まず、構造につきましては、後半のワークの中にですね、鉛たおさめて、その上から鋼板で挟み込んで、ビスでとめているという構造な構造になっております。
0:12:49	またちょっと先ほどの発言で鉛他の厚さにつきましてマスキング箇所についての発言があったかと思っておりますのでええと、
0:12:57	ご連絡させていただきました。以上です。
0:13:01	はい、わかりましたちょっとすみませんでした。
0:13:05	で出現してました。
0:13:07	49 ページ、
0:13:13	3 番の資料の 49 ページですけど、
0:13:19	この主体構造のところではやはりこれも
0:13:24	君津ゴムの花Cがやっぱりこの、
0:13:28	遮へい機密と扉としてはやっぱり、
0:13:32	記載すべきだと思うので、それを書いていただき、それもちょっと追求していただきたいんですがいかがでしょうか。
0:13:41	中国電力の井岡です。承知いたしました。先ほどと同様にこちらについても気密ゴム等の記載について拡充したいと思います。以上です。
0:13:49	はい。それからですね主体構造のその文章と絵を読んでいくとちょっと対応がわからないのがあって、
0:13:58	ちょっと
0:14:00	説明、まず、図に追加するなり何かして欲しいんですけど、まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:06	上の3行目で、扉板に芯材を取り付け、
0:14:11	扉に設置された環境ってあるんですけど、
0:14:16	絵を見ても、ちょっとなんかどう、どういう関係なのかよくわからないので、
0:14:24	芯材っていうのを追加するかな、何か他の用語でうまく説明する。
0:14:30	というのとあと、
0:14:32	もう一つは下から、
0:14:34	4行目で、扉枠は構造フレーム。
0:14:38	括弧後半に溶接で接続すると。
0:14:44	この、この資料の範囲では、構造フレームが一体、
0:14:48	何なのかちょっとわからなくて、
0:14:52	大気質の構造フレーム
0:14:55	ということだと思うんですけど、
0:14:57	これだけだとちょっとわからないので、
0:15:00	説明をちょっと。
0:15:02	拡充していただきたいんですがいかがでしょうか。
0:15:07	中国電力宮川です。承知いたしました。記載について拡充したいと思います。以上です。よろしくお願いします。私からは以上です。
0:15:22	規制庁津川ですちょっと確認なんですけれども、
0:15:26	遮へい気密扉の健全性評価が、今補足説明資料についてるんですけれども、
0:15:31	これは計算書として、
0:15:33	申請書には、
0:15:36	ついてはいないんでしょうか。
0:15:42	中国電力ミヨカワです。少々お待ちください。
0:15:49	中国電力宮岡です。お待たせいたしました。気密扉の健全性評価につきましてはこちらの補足説明資料に記載されているもののみとなります。計算書を個別に出していることはございません以上です。
0:16:05	規制庁鶴です。
0:16:09	中央制御室待避室II
0:16:12	の機能として、
0:16:15	その要するにD、
0:16:18	対比するために理解するために必要な機能を、この遮へい扉っていうのは有してると思うんですけども、
0:16:26	それを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:27	計算書として申請書に載せないっていうのはどういった考えで、今そうなってるんでしょうか。
0:16:37	中国電力の中です。少々お待ちください。
0:18:30	規制庁津金です。すみませんちょっと私この辺の事情はあまり詳しくなくて、先行事例とも照らしていただいて、今こういう形で、計算書としてはつけていないところの、
0:18:42	考え方っていうのをちょっと改めて説明してもらってもよろしいでしょうか。
0:18:50	中国電力宮岡です。承知いたしました。先行機能状況等踏まえましてこちらについては、方針を検討したいと思います。以上です。
0:19:01	規制庁津川ですはいよろしくお願いします。
0:19:04	コメント3と7について他よろしいでしょうか。
0:19:09	それでは引き続き、説明の方お願いします。
0:19:14	はい。中国電力、宮川です。資料一番の1ページをお願いします。
0:19:22	No.4について回答いたします。
0:19:25	コメント内容としては、中央制御室待避室遮へいを構成する各部位に対する要求機能について、評価部位の具体的な位置、評価方法及び許容限界を説明することとなります。
0:19:38	回答としては、資料3番の通し14ページ15ページをお願いします。
0:19:54	今日、3-1に要求機能ごとの評価対象部位、3市の考え方及び協議会を追記いたしました。
0:20:05	ナンバー4の回答については以上となります。
0:20:20	はい規制庁のタニグチです。基本的に14ページ、15ページで、各、
0:20:27	機能上の目標、また、要求機能も含めて記載されてますので、これで、
0:20:34	よろしいかと思えます。以上です。
0:20:45	はい、それでは続きまして、資料一番の1ページをお願いします。
0:20:53	ナンバー5について回答いたします。
0:20:56	コメント内容としては、中央制御室待避室遮へいの解析モデルのうち、モデル2及びモデル3について、その解析結果を詳細に説明することとなります。
0:21:08	回答としては、資料3番をし21ページ、お願いします。
0:21:23	21ページの6-1、解析モデル概要像を示しております。
0:21:30	モデル1の用途としては、固有値解析。
0:21:33	構造フレームの断面算定、
0:21:36	基礎ボルト評価用の反力3室、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:38	モデル 2 及びモデル 3 の評価対象部位の選定。
0:21:42	遮へいパネル設営、接合部の応力評価となります。
0:21:47	また、モデル 2 の用途としては、遮へいパネルの応力評価となります。
0:21:52	モデル 1 で選定した評価対象部位の遮へいパネル 1 枚お尻要素として単体でモデル化しました。
0:22:00	評価対象部位は、遮へいパネルの接合条件に応じて、標準おさまり及び床収まりの 2 ケースを選定しております。
0:22:09	接合部にモデル 1 の変位量を強制変位として与え、遮へいパネルの慣性力も考慮しております。
0:22:18	ページ、22 ページ、23 ページに、モデル 2 の解析結果を追記しております。
0:22:27	ホテル市の最大ひずみ分布から対象を選定しまして、そちらについて、モデル 2-1、
0:22:34	ORCAC解析を行った結果を示しております。
0:22:47	21 ページに戻りまして、モデル 3 の用途としては、機密用鋼板の応力評価用となります。
0:22:55	こちらモデル 1 で選定した評価対象部位の必要鋼板 1 枚を整理をされ、対象部品の方低下しました。
0:23:03	モデル 1 との接合部には、モデル 1 の変位量、強制変位と与え、気密用鋼板の慣性力も考慮しております。
0:23:12	24 ページに、モデル 3 の解析結果を、
0:23:16	追記しております。
0:23:18	こちらモデル 1、
0:23:20	の結果から、評価対象部位を選定しまして、モデル、
0:23:25	3、
0:23:27	を用いて解析を行っております。
0:23:31	No.5 の回答については以上となります。
0:23:38	はい。モデルについては、了解しました。
0:23:53	中国電力宮川です。それでは、続きまして、
0:23:57	資料一番の 1 ページを最後にしつつ待ってください。それと、ちょっと待ってください。
0:24:04	ちょっとコメントがあります。
0:24:10	規制庁の三浦ですちょっといろいろと聞きたいんですけど。
0:24:17	今戻るのは、
0:24:20	21 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:23	なのですが、
0:24:25	21 ページ。
0:24:32	3 番の資料 3 番の資料。
0:24:35	ごめんなさい。
0:24:36	21 ページ。
0:24:44	今のご説明で、ちょっと 21 ページの確認していきます。
0:24:50	全体モデルでは、
0:24:53	下に書かれているパネルとの 1 枚のシェル要素でモデル化されている。
0:24:59	それは正しいですか。
0:25:05	中国電力の岡です。ご認識の通りとなります。以上です。はいそれで、それを、
0:25:12	すごく詳細なFEMごとに、
0:25:15	して、
0:25:18	1 枚のパネルで獲られてくる変位を強制変位としてかけてる。
0:25:24	その正しいですか。
0:25:32	中国電力、ミヨカワです。基本的にはご認識の通りとなっております、
0:25:37	例えばですけどモデル 2 の方の遮へいパネルの方でしたら、ボルト出て、結合しておりますので、
0:25:48	図の 6-1 の赤く示してるところが接合部となりますのでそちらの、
0:25:55	変位をモデル 1 で、赤いボールド締結のところの変容モデル 2 の方でも同様に与えています。
0:26:03	し、モデル 3 につきましては溶接で結合してるものとなりますので、モデル 1、
0:26:09	溶接部での変位をモデルさんでも同様の部位に与えている状態となります。以上です。その時にですね詳細モデルの時の境界条件ってどういうふうにされてんですか。例えば、
0:26:22	遮へいパネルのところのボルト部。
0:26:26	これ多分ボルト能力、こっから持ってきてんじゃないかと思うんですが、これはどういう強化状況使ってるんですか。
0:26:39	中国電力の中です。モデル 2 の 1 につきましては赤いV部分につきまして、ピン結合の境界条件となっております。以上ですそうするとそこをピン接合にしてあって、外周、
0:26:53	そのポイントの変容を入れてるんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:58	はい。中国電力の岡です。モデルにつきましてはご認識の通りとなります。以上です。はい。モデル市に対しても、
0:27:06	そこの赤々昇土肥氏っていうのが、ピン支持してそこに強制変位を入れられてる。
0:27:13	ですか。
0:27:18	それだと電力現場です。少々お待ちください。ちょっと解析の内容が、それだとおかしいんじゃないかな。
0:27:56	中国電力宮岡です。私の説明が不足していたかもしれませんが、まずモデル1の方で応答解析を実施しておりますしてその応答解析の結果えられた可愛部分の変位量を、モデル2の方に入力、モデル2の赤い部分に、
0:28:11	強制変位として与えているという解析の内容となります。以上です。はあ。
0:28:17	その時にパネルの周辺ってのは、これ評価条件設定してない。
0:28:23	ですか。
0:28:24	フリーの状態。
0:28:32	中国電力の%です。モデルにつきましては周辺はフリーの状態となっております。以上です。そうすると、ボルト部分に強制変位を入れてるんだから、そこではボルトの、
0:28:46	何とか応力って出てこないですよ。
0:28:49	ボルト能力ってどうやって求めてるんですか。
0:28:57	中国電力の馬場です。少々お待ちください。
0:29:13	中国電力の中です。ゴールドの評価につきましてはモデル1の応答解析でやりました赤い点でえられる荷重を使ってボルトの評価に適用しているという内容になります。以上です。わかりました。
0:29:26	そういうことですね。
0:29:29	モデルさんかな。機密用鋼板の場合は溶接なのでその周辺の、ここに書かれてるポイントの変位をそれぞれ入れてきてると、そういう理解でいいですか。
0:29:43	中国電力宮岡です。ご認識の通りとなります。以上です。今やり方は理解できました。今の、
0:29:52	実際の変位の入れる場所とかそういうのったら、
0:29:55	どっかにこう記載されてますか。
0:30:10	中国電力宮です。少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:23	中国電力の仲です。まずうモデルにつきましては、衛藤オチページで言いますと19ページのですね、両括弧2モデル2のbポツが硫黄の
0:30:35	ここにモデル2bポツと、
0:30:41	4ポツ目ですね、接合部にモデル1の営業を強制変位として与えるとしておりまして、前段ですかね接合部というのはこの赤いボードの位置であることっていうのは示して、
0:30:55	おる状態となっております。また、アノデールさんにつきましては同じ等49ページの両括弧3モデル3のbポツ、概要の
0:31:07	これもそうですね、4ポツ目のところに、
0:31:11	セツツ5分に対して、変位を強制変位として与えるという記載はさせていただきます。以上です。わかりました。
0:31:21	ちょっと今読みて御説明のところで、
0:31:24	三つでモデル2の、
0:31:27	戻り概要のところでモード1で設定した評価対象のパネル1枚をシェル要素単体とモデル化し、その接合をピン接合とする。
0:31:38	これは全体モデルの話をしてるんですか。
0:31:53	中国電力の岡です。ご質問いただいた件につきましてはこちらですね19ページの両括弧2に関する記載となりますのでモデルに関する条件となります。以上です。
0:32:05	モデルに、お話だとすれば、
0:32:09	接合部をピン接合とするっていうことを記載されてますよね。そうするとこれは、
0:32:18	モデル2の赤の21ページの赤の部分をピン接合にしてるんですか。
0:32:28	中国電力の岡です。ご認識の通りとなります。以上です。
0:32:35	ピン接合としてそこに強制変位を入れてるってことですね。
0:32:39	うん。
0:32:40	あ、わかりました。はい。
0:32:43	今のご説明での内容は理解できました。はい。これで結構です。
0:32:57	規制庁津川ですはい。それでは引き続き説明をお願いします。
0:33:04	はい、中部電力ミヨカワです。それでは続いてのコメント回答させていただければと思います。
0:33:11	資料一番の1ページをお願いいたします。
0:33:21	ナンバー6について回答いたします。
0:33:24	コメント内容としては、中央制御室待避室遮へいを支持する壁について、基礎ボルトの反力に対する健全性を説明することとなります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:34	回答としては、資料 3 番の通し 34 ページをお願いします。
0:33:48	1 ポツ、検討概要に示す通り、中央制御室待避室は、基礎ボルトを介して、制御室建物の導入、及び東面の耐震駅で支持する構造となっております、
0:34:00	本資料では、中央制御室待避室を支持する。
0:34:04	制御室建物、アイシン駅について、Ss地震時の中央制御室待避室の、
0:34:11	臨界反力及び退避室支持壁の面外慣性力に対して十分な構造強度を有していることを確認します。
0:34:21	35 ページをお願いします。
0:34:28	I必須の構造概要を図の 2-1 に示しています。
0:34:32	評価対象の退避室を支持する壁をグレーハッチングで示しており、南委員及び東面の壁について評価を行います。
0:34:42	36 ページをお願いします。
0:34:46	3 ポツ、検討方針に記載の通り、待避室支持壁の評価は、FEMモデルを用いた弾性応力解析により行い、
0:34:55	Ss地震時の中央制御室待避室の臨界反力及び待避室、一次壁の面外慣性力の組み合わせにより発生する応力が、
0:35:05	RCM基準に基づいた、
0:35:08	基づき設定した許容限界を超えることを確認いたします。
0:35:13	中央制御室待避室の面外反力については、4 ポツ、設計地震力の両括弧 1 に示す通り、
0:35:21	中央制御室の耐震計算書に示す結果に基づく設計用震度 2 による基礎ボルト反力を用います。
0:35:31	また、代筆支持壁の面外慣性力については、両括弧 2 に示す通り、制御室建物の地震応答計算書の結果に基づき、
0:35:41	材料物性の不確かさを考慮したいえる 22.05メートルにおけるSs地震時の水平方向最大応答加速度より設定した。
0:35:51	表 4-1 に示す評価用震度に基づき算定します。
0:35:56	37 ページをお願いします。
0:36:00	ポポツ荷重及び荷重の組み合わせについて、退避室支持壁の評価に用いる荷重の組み合わせを表 5-1 に示します。
0:36:10	タイ品質支持壁の評価では、固定荷重Gとして、退避室の自重と、Ss地震時の壁の面外慣性力及び退避室の耐震計算書による。
0:36:21	算出、算定される退避室の塩害反力を組み合わせて評価を行います。
0:36:28	38 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:32	コンクリート及び鉄筋の許容限界は表 6-1、6-2 に示す通りです。
0:36:39	39 ページをお願いします。
0:36:45	7 ポツ、評価方法として、応力解析は、FEMモデルを用いた弾性応力解析を行っており、
0:36:52	図の 7-1 に解析モデルの概念図を示しております。
0:36:57	柱及び梁で囲まれたスパン、内包長さできイダして、
0:37:03	赤線で示す境界を固定としたFEMモデルに対して、品質の面外反力として、
0:37:09	青線、
0:37:10	ビジネス代筆遮へいの解析モデルと阿部の取り合い点及び基礎ボルト 1 に反力を、
0:37:17	阿部地震の慣性力として、全設定に、面外慣性力を入力しています。
0:37:23	40 ページをお願いします。
0:37:25	図の 7-2 に、南面及び東門解析モデルをそれぞれ示しております。
0:37:32	待避室の反力設定値を赤丸で示しています。
0:37:38	42 ページをお願いします。
0:37:42	今日、7-2 に退避室指示株評価における荷重の組み合わせケースを示しています。
0:37:49	組み合わせケースとしては、注記にも記載していますが、
0:37:52	47 ページの参考資料に示す。
0:37:57	退避室の評価における解析ケース 24 ケースに対して算定される退避室の面外反力に対して、
0:38:04	壁の固定化時及び年賀一般勢力を組み合わせ、阿部の評価を行っています。
0:38:12	44 ページをお願いします。
0:38:20	両括弧 4。
0:38:21	盤面の評価方法として、曲げモーメント及び面外せん断力に対して、RCN基準に基づくキョウチを超えないことを確認しています。
0:38:31	46 ページをお願いします。
0:38:37	表 8-1 に待避室支持壁の断面の評価結果について、
0:38:42	綿々支持過程及び東面支持壁。
0:38:46	それぞれの評価結果を示しています。
0:38:49	曲げモーメント及び、面外せん断力が限界を超えておらず、退避室を支持する制御室建物のタイ新駅が、S _s 地震時の、品質の面外反力及び壁の間、外観勢力に対して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:03	十分な構造強度を有していることを確認いたしました。
0:39:07	No.6 の回答については以上となります。
0:39:11	はい。規制庁の三浦です。制御室の壁のチェックをしていただいたってことでちょっと確認だけさせていただきます。
0:39:19	ここで、制御室の壁、それに対する面が反力入れてるのは、
0:39:25	先ほどの 3 次元のモデルの反力を入れてきてるという理解でいいですか。
0:39:36	はい。中国電力の秦です。そのご認識の通りです。以上です。
0:39:41	これであれですか。
0:39:43	ボール等なのですの水平成分だけを入れてるメガ成分だけを入れてるっていう理解でいいですね。
0:39:53	はい。中国電力の秦です。そのご認識です。以上です。わかりました。内容的にはこれでいいと思いますんで、私はこれで結構だと思います。はい。私から以上です。
0:40:11	規制庁植木です。ちょっと教えていただきたいんですけど、今説明のあった、
0:40:18	資料 3 の
0:40:22	36 ページの 4 ポツの設計を地震力なんですけど、
0:40:29	(1)で中央制御室待避室の面々が判読。
0:40:34	に関しては設計を進度に、
0:40:38	Ssの設計を震度 2 を使っていて、(2)の
0:40:46	退避室し、支持下部支持壁の面外慣性力、
0:40:51	についてはSs、Dの、
0:40:56	ケース 1 とかケース 2 というようなものを使ってるんですけど、
0:41:05	括弧 2 の方でこういう地震動に、
0:41:09	とかケースを使う。
0:41:10	だという理由をちょっと教えてください。
0:41:21	はい。中国電力の秦です。こちらの岡部は中央制御室建物の壁として、別途ですね制御室建物の方の耐震計算書で評価しておりますのでその評価条件に合わせたものとなっております。以上です。
0:41:40	このSSDっていうのは、Ssの中で一番大きい。
0:41:47	ケースっていうことなんでしょうか。
0:41:51	はい。中国電力の羽田です。この資料ナンバー3 の 20、30、
0:41:57	6、ごめんなさい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:00	資料ナンバー3の36ページで、4ポツの(2)で記載しております通り、 制御室建物の実施ごと計算書の、
0:42:12	結果ということでこれ材料物性の不確かさも考慮したすべてのケース の、
0:42:18	うち最大のものを持ってきております。以上です。
0:42:24	規制庁イケダ質問は、表4.1で、SSDとかって書いてあるんですけどこれ、 これが最大のもの、その中の最大のものということで、
0:42:36	これを使ってるっていいのでしょうか。
0:42:41	はい。中国電力の秦です。そのご認識の通りです。以上です。
0:42:46	規制庁植木です。それであればちょっとそれがわかるように変え、
0:42:52	ておいて欲しいんですけど、今の書き方だと何か、
0:42:57	最大かどうかもわからないし、唐突に、SSDとかケース一、二っていう のが出てくるので、
0:43:05	ちょっとわかるように書いていただきたいんですけど。
0:43:11	はい。中国電力の秦です。この表の4の一井ですね一応、最大応答加 速度と記載させていただいておりまして、注記を振っております、
0:43:22	これが静養室建物の地震応答計算書による結果に基づき、
0:43:27	材料物性の不確かさを考慮した値ということで、
0:43:33	すべての
0:43:34	波係数でうち最大のものをここに記載したということで、注記も含めて記 載、記載をしておりますので、
0:43:43	これで十分かと思いますがいかがでしょうか。
0:43:46	規制庁、植木です最大応答加速度って、地震音解析の結果出てきた最 大応答加速度っていう意味ですよ、全件数の中の最大。
0:43:58	ということではこういう用語は使わないと思うんですけど、
0:44:03	で、あと下の材料物性の不確かさを考慮した値って書いてあるんですけ どその、
0:44:10	Ss-Dのこのケース1、さっき言ったように最大応答加速度って全部の
0:44:16	中の最大っていうふうには読まないと思うんですけど、
0:44:20	いかがでしょうか。
0:44:24	中国電力の秦です。建物構築物側ですね、耐震計算書とかニシモト 計算書の中で、
0:44:32	はこういった表記になっておりますけれども、
0:44:35	以上です。
0:44:38	規制庁植木です。わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:41	最大応答加速度っていうのは全ばらつき考慮したものであと、
0:44:47	Ssの中の最大、
0:44:51	対して、最大応答加速度、
0:44:54	という言い方をしてるっていうことでよろしいんですか。
0:45:00	はい。中国電力の羽田です。そのご認識の通りです。以上です。
0:45:05	規制庁植木です。はい、わかりました。私からは以上です。
0:45:40	アクセスが多いんですけど、
0:45:44	ちょっとその表。
0:45:46	44 ページにですね。
0:45:49	大断面力成分っていう図があるんですけど、
0:45:54	これもそういう規則になってるのかわからないんですけど、もうMZってあってこっち方向のモーメントって書いてあってですね。
0:46:04	普通OMZ等を、
0:46:06	Z方向って書いてある軸回りOMZっていうふうにするんですけど、
0:46:12	これは、
0:46:14	建屋をってみんなこういうふうにやってんでしたっけ。
0:46:24	はい、中国電力の秦です。床チラーですけども一応建物構築図側ではですねこういった表記にしております。以上です。
0:46:35	それですそんなのはしょうがないんですけど、
0:46:41	どっかで応力でおかしくなっちゃ大丈夫ですか。
0:48:01	中国電力の板山ですけども、
0:48:04	しばらく音声が届いてごさいませんが、いかがでしょうか。ごめんなさい。
0:48:10	あれしてたのかな。すいません。41 ページにGっていう固定かつ、
0:48:15	なりますけど、
0:48:19	この中にコンクリート自身の自重、
0:48:23	二重っていうか、
0:48:26	うん。
0:48:27	等、それからこの遮へいす。
0:48:31	それ社員室の中の人が入った場合の、
0:48:35	荷重なんかも考慮してるんでしょうか。
0:48:48	はい。中国電力の畠です。こちらはですね壁の評価ということで固定荷重につきましては、壁の荷重が入っております、堆肥津川の話でいきますとこのUS
0:49:02	AIの面外反力の方に含まれております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:08	了解しました。ということはこの時っていうのはコンクリートの部分だけということで、
0:49:15	そう考えればよろしいってことですね。はい。
0:49:21	中国電力の羽田です。そのご認識の通りです。以上です。
0:49:44	規制庁津金です。今の件について他コメントよろしいでしょうか。
0:49:52	はい。
0:49:55	回答整理表の説明は以上となりますでしょうか。
0:50:01	中国電力宮岡です。回答整理表のご説明は以上となります。
0:50:06	以上です。
0:50:09	規制庁鶴です。はい。
0:50:12	爪流下しました。
0:50:14	国その他何か、
0:50:17	指摘、コメント等ありますでしょうか。
0:50:24	規制庁ウエキです。資料の2のですね、34、ごめんなさい、通しの36ページなんですけど、
0:50:35	これ前回ちょっとお聞きして回答いただいているかもしれないんですけども、
0:50:44	これ、
0:50:46	ブルーと、
0:50:48	が、3種類あってまず基礎ボルト等に関しては、引張せん断と組み合わせ、
0:50:57	ミツイ、
0:50:58	Aと評価していて、
0:51:01	その下、高力ボルトは、せん断について評価してますので、
0:51:08	その下の接合部、
0:51:11	ボール等については引張とせん断で、
0:51:16	引っ張りのところには、※6がについてこれ、結局組み合わせだと思うんですけど、
0:51:25	この家、マボルトの種類によって評価、
0:51:31	評価する、
0:51:34	項目というかやり方というか、それが、
0:51:38	違う。
0:51:39	ていうところを少し説明。
0:51:42	再度説明して、
0:51:44	いただきたいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:49	中国電力牟田です。少々お待ちください。
0:53:02	中国電力宮です。お待たせいたしました。こちらの回答するに当たりまして、補足説明資料の 17 ページもあわせてご覧いただければと思います。
0:53:23	はい。
0:53:24	はい。補足説明資料の 17 ページの表の 5-1 にですね、評価対象部位ごとの評価方法及び適用規格を示させていただいております。
0:53:34	こちらまずですねマルホウの基礎ボルトのケミカルアンカーなんですけども、こちらは一番右の適用規格の欄を見ていただきますとですね、各種合成構造設計指針、
0:53:46	に基づいてですね、引張せん断組み合わせについて評価を行っているものとなります。
0:53:53	続きまして、高力ボルトにつきましては、注記の 1、
0:54:01	に示させていただいております通り No. 6 の郡ボールを、はですね、
0:54:07	今回使用している郡ボルト摩擦接合形式のため引張力は発生いたしませんので、せん断のみ評価対象となっております。
0:54:15	また最後の遮へいパネルの接合ボルトにつきましては、ナンバーの 7 としまして、構造設計基準としまして、引張せん断組み合わせ、
0:54:26	組み合わせにつきましては※2に記載した記載させていただいております通り、構造設計基準に規定されている、今日引張力の算定式に含まれておりますので、
0:54:36	このような記載となっております。以上です。
0:54:41	規制庁植木です。
0:54:44	はい。
0:54:45	わかりました。ここで説明いただいているってことです。
0:54:50	ちなみに⑤と⑦。
0:54:54	結局、組み合わせ
0:54:57	の評価をしているんですけど、これは
0:55:02	適用規格によって表現が違う。やってることは似たようなことかと思うんですけど、
0:55:10	基礎ボルトは、合成構造設計指針を使ってパネル接合は、
0:55:21	ここの構造設計基準、
0:55:24	なんか微妙ん違う。
0:55:27	違う。
0:55:29	適用する規格がこう違うっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:35	なんで違うんでしょうか。
0:55:39	中国電力ミヨカワです少々お待ちください。
0:56:02	はい。中国電力の秦です。こちらですね、まず、基礎ボルトの方は、中間孝構造と、コンクリートの、
0:56:12	阿部、
0:56:13	に接合するものですので各種合成構造設計指針で、パネル同士、パネルと方はですね構造ですので、
0:56:25	構造設計基準、こちらを用いて計算をしております。以上です。
0:56:30	規制庁植木ですはい。了解しました。私からは以上です。
0:56:43	規制庁のタニグチです。
0:56:47	14.3の資料の14ページ目15ページ目のところに、
0:56:54	和会各要求機能に関しての、
0:56:58	増強構造共同性衛生気密性という確保向こうの中に、
0:57:05	中央制御室遮へい、括弧壁という表現があるんですけども、
0:57:11	具体的に、
0:57:13	せん断ひずみ2.0の10のマイナス30という許容限界を満たしていることを確認する。
0:57:21	具体的な
0:57:23	対象部位ってのはこの遮へい壁って、
0:57:26	どこのことを説明してるのか教えてください。
0:58:05	中国電力の%です少々お待ちください。
0:58:29	中国電力宮です。
0:58:31	お待たせいたしました。
0:58:33	資料2番、
0:58:35	の、
0:58:37	防止で、6ページ。
0:58:41	この図のイの2に中央制御室待避室の平面図を記載しておりまして、こちらの青いハッチングをしている部分が、
0:58:51	中央制御室遮へい、
0:58:53	岡部に該当する箇所になります。以上です。
0:58:57	うんうん。わかりました。そうするとコンクリートの、東が、
0:59:03	南側と東側の面の指示管理のことを言ってるんですねそうするとイメージは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:13	はい、中国電力の横谷です。今日の木野通りとなります。以上です。この辺の表現をちょっとクリアにしておかないといけないかなと思ってて、タイ
0:59:27	添付資料の中で例えば中央制御室待避室を支持する壁っていう表現をしているので、
0:59:34	これ示すのであればこういう表現をしないと、ちょっとわかりにくいかなと思ったので、
0:59:47	具体的なコンクリートの、今、56 に示す。
0:59:53	制御室遮への壁だ、RCの風なことを言ってますってことですね、イメージは。
0:59:59	それをちょっと、
1:00:00	もう少し表の中で記載を、
1:00:04	追加してわかるようにしてってください。
1:00:08	いかがでしょうか。
1:00:22	中国電力稲葉です。承知いたしました記載方法につきましては、検討しまして、反映したいと思います。以上です。はい、わかりました。
1:00:31	それをお願いします。
1:00:38	規制庁のミウラ図ちょっと私の方から、
1:00:42	幾つか確認とお願いがあるんですが、今添付資料の2名、2の資料の6ページですか。
1:00:52	ここで
1:00:55	図の2-2ってありますよねその下側に、
1:00:58	このズーですけど、例えばX6とかX5とこのスパンがどのぐらいかっていうスパンを全部入れていただくことができますわ言わんはいつ、この間の感覚ですね。
1:01:28	中国電力の%です。
1:01:32	紙資料3番のですね。
1:01:38	6ページをご覧いただければと思いますが、
1:01:46	6ページ、ここに詳細図が入ってるんだけど、6ページの方もこれ入れとったらどうですか。
1:02:00	中部電力赤津承知いたしました。資料2番の方の6ページの図の2の補2の方にも追加したいと思います。以上です。はい。お願いします。あと7ページの図の2-3下の方の図ですよ。
1:02:13	これも確認なんですが、構造フレームの鉄骨があってその上に、構造不明の工場ありますよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:20	その上に、
1:02:23	上に交番の凸部があるんですね。
1:02:27	その交番とすぐに取り合うように、
1:02:31	遮へいパネルが入っていて、その上に機密用鋼板がその凸部に溶接されてる、そういう理解でいいですか。
1:02:43	中国電力大庭です。ご認識の通りとなります。以上です。これ交番とすぐ何か色分けして表記しておいていただけます。
1:03:08	中国電力の仲です。承知いたしました。7 ページの図の 2-3 に反映したいと思います以上です。はい。お願いします。それと、
1:03:18	資料 3 の、
1:03:21	10 ページ。
1:03:24	結構詳細図書いていただいて、どういう形になってるかってのこれを見て理解できるなったんですが、
1:03:32	構造フレームの接合状態っていうのが左側別ありますよね。
1:03:38	これで、
1:03:41	構造フレームの収益これに、
1:03:45	項番が溶接されてるというのを理解できるんですが、その収柱材の隣にこれ間柱ありますよね。この間柱は、
1:03:55	書き込んで交番を溶接してるんですか。
1:04:07	中国電力ミヨカワです。少々お待ちください。
1:05:16	中国電力の仲です。お待たせいたしました。構造としましてはですね柱と呼んでいる鉄骨の方ですねけず、
1:05:27	定款恩田の鋼板をはめ込んで増設しているという構造になっております。以上です。規制庁の三浦です。
1:05:35	そういう絵ですよねだから
1:05:38	柱を囲んで項番入れてそれにスミニックで溶接してるっていう状態ですねこれはだからなぜそうしたかっていうと、
1:05:45	接合ボルト、
1:05:48	鮭パネルの接合部等を、これ面子させなきゃいけないんで、この間柱を前に出してござるをえなかったっていうこと。
1:05:56	で理解すればいいですか。
1:06:01	中国電力の岡です。ご認識の通りとなります。以上です。そうするとね、主体となっている違うところと間柱ってこれどうやって接続してるんですか。
1:06:24	中国電力ミヨカワです少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:41	中国電力の岡です。お待たせいたしました。
1:07:45	そうですね資料3番の、
1:07:48	6ページをご覧いただければと思います。
1:08:00	はい。6ページにですね、こちらは、構造フレームの鉄骨の接合イメージを示してるものとなりまして、衛藤縦方向に、
1:08:11	並んでいる種の柱、
1:08:14	とあとはその横にいる、もう少し細い柱あると思うんですけどこちらの接合につきましては、横方向に梁が通ってるかと思えますけども、こちらの梁を通して、
1:08:25	接続している形となっております。以上です。
1:08:29	規制庁の三浦です。だからこの針からがセットだして、
1:08:35	接合してるってことですか。
1:08:50	中国電力の%です。少々お待ちください。
1:09:28	中国電力の仲です。
1:09:30	現在ですね少し確認に時間要しておりますのでもし別のコメント等がございましたら先にそちらの方、対応させていただければと思いますがいかがでしょうか。以上です。規制庁の三野です。ちょっと確認をしてください。
1:09:43	鉄骨なんで、ちょっと信ずるが気になったんですけど、何間柱なんで、受ける力はないので、何とでも接合はできるかなとは思ってたんですが、
1:09:54	結局は梁部材に何らかの形で、
1:09:57	加工して長調整して接合してるってことですよねきっとね。
1:10:04	溶接してるのかもしれないけどちょっと確認してください。私から以上です。
1:10:13	中国電力の中です。ただいまですね確認が取れましてがセットで接続しているということでした。以上です。わかりました梁からがセット出してそれで接合してる場所ですね。
1:10:23	はい。
1:10:24	非常に複雑な加工なのでかなり理解するのに大変だったんですが、かなり詳細図つけていただいたんで、加工イメージが非常によくできました。どうもありがとうございます。はい。私から以上です。
1:10:43	規制庁、植木です。資料の2、
1:10:47	お願いします。
1:10:49	ちょっとこれ、添付書類ってということで少し表現の細かいところろ、
1:10:56	なんですけど、土佐。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:58	30 ページでですね、ちょっとつまらない話なんですけど、4.8. 3 の 2 行目の真ん中辺り。
1:11:09	今日せん断耐力以下以下におさまることを確認する。
1:11:13	という記載があって、その下の方は 1 以下であることを確認する。
1:11:18	という記載なので、ここは、
1:11:21	下と合わせたほうがいいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:11:31	中国電力宮岡です。
1:11:33	はい、承知しました下の、以下であることを確認するという表現に統一を図りたいと思います。以上です。
1:11:41	規制庁植木ですお願いしますあと 43 ページなんですけど、
1:11:49	表の下の表の 3.2 のですね出展、
1:11:53	というのが書いてあってこれ、追加していただいているんですけど、
1:11:58	この種
1:11:59	点というのはこの
1:12:02	表全体の総漏洩量とかってこの結果についても、この中央制御室の移住性に関する説明書の
1:12:13	2 にも書いて、書いてあるってということなんでしょうか。
1:12:24	中国電力室岡です。出典でですね記載されているのは、43 ページの表の 3-2 で言いますと、右側ノーですね正圧化装置の必要換気量についてとなります。以上です。
1:12:38	規制庁植木です。多分そうだと思うんですけどそうするとやっぱり、
1:12:46	必要換気量のところに何か注記か何かつけてところこの出典は、この当初ですっていうふうにした方がより、
1:12:54	明確になると思うんですけど。
1:12:59	はい、中国電力新岡です。おっしゃる通りかと思いますので、必要換気量の方にですね注記を飛ばしてこの数字が出典から出てきていることがわかるようにしたいと思います。以上です。
1:13:10	規制庁植木です。お願いします。あと 44 ページで、細かい話ですけど 4 ポツのまとめ。
1:13:18	基準地震動っていうふうに書いてあるんですけどこれは、
1:13:23	Ssをつけるように、多分統一されてるのかなと思うんですけど。
1:13:28	いかがでしょうか。
1:13:33	はい。中国電力の稲葉です。確かに基準地震動に関しましては基準地震動Ssと表記するのが通常かと思いますのでこちらも、記載の統一を図りたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:44	規制庁植木ですはい。よろしく申し上げます。私からは以上です。
1:13:52	規制庁の猪野ですけど、2番の資料の25ページ。
1:13:58	ちょっとしつこいんですけど、
1:14:00	モーメントの、
1:14:03	OMZがですね、Z軸周りではないんですけど、これNASTRANの説明のはずなんで、
1:14:09	普通こうしてないのですね、ちょっと、
1:14:14	実際のプログラムを確認していただけますか。
1:14:24	中国電力宮岡です。確認までですけども、今は
1:14:30	コメントいただいたのは資料2番の25ページ通しの25ページの
1:14:36	話でよろしかったでしょうか。26ページでしたでしょうか。25ページの近田行っていうのは、一番左に図の4-5の、
1:14:46	左にH形鋼ってのがあると思うんですけど、
1:14:49	この軸とですね。
1:14:53	それからモーメントの、
1:14:56	こっちの回転方向とかこう書いてある。
1:14:59	MZってやつが、Y軸の周りの、
1:15:03	IV面等みたいになってるので普通は、
1:15:06	MzだったらZ軸周りのモーメントなんで、
1:15:10	多分NASTRANNASTRANで決まってるはずなんで、ちょっと確認していただきたいなと思うんですけど。
1:15:18	結果には影響ないなさそうなんだけど、
1:15:22	ちょっとやっぱ違っているとおかしいと思われちゃう可能性があるんで、
1:15:32	はい。中国電力の秦です。こちらですね先ほども壁の方で説明しましたけれども、建築の方ではこういう陸周りの
1:15:43	力の方向になっておりますので、間違いないことも確認しております。以上です。
1:15:49	でもこれNASTRANなんですよ。
1:15:56	コードで決まってると思うんだけど、
1:16:01	中部電力の秦です。失礼しました。衛藤那須様とは違う軸で書いておりますけども、力の方向は、間違っていないということをちゃんと確認して計算しております。以上です。
1:16:16	よくわかんないんですけど。
1:16:18	計算プログラムが出た結果を使って、
1:16:22	計算してるんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:24	結果が間違っていないってどういう意味だかよくわかんないんですけど。
1:16:28	えっとできれば
1:16:34	どういうふうにしてるのか教えてください、プログラムの結果。
1:16:39	MXMMZって出てきてると思うんですけど。
1:16:43	そのプログラムの結果、
1:16:45	個別の座標に、
1:16:48	変えるのは自由ですけど、
1:16:58	中国電力のアドレス帳、少々お待ちください。
1:18:00	中国電力の秦です。こちらですねちょっとNASAの、とかちょっといろいろ確認する必要があると思いますので、また別途ご回答させていただきます。以上です。加来社長よろしくお願ひします。
1:18:16	規制庁鶴です。規制庁側から、
1:18:19	本当。
1:18:30	規制庁の服部です私からちょっと何点か確認したいんですけど。
1:18:35	②の資料の 31 ページなんですけど、
1:18:39	この 2 行目なんですけれども、
1:18:41	この重大事故時、事故当時の
1:18:45	状態を考慮した場合の耐震評価を以下に示すって書いてるんですけど。
1:18:54	文章の意味というのは、
1:18:57	重大事故当時の
1:18:59	荷重状態とか一例えば、
1:19:02	指示状態とか、そういうものを考慮した場合、
1:19:07	耐震性評価を示してるって言ってんのか。
1:19:11	そもそも、この遮へいが重大事故時に使うものだとすることを、
1:19:16	踏まえた耐震評価をし、以下に示すと言ってるのか、どっちなんですか。どうぞ。
1:19:47	はい。中国電力宮岡です。藤委員、コメントいただいた内容ですけども、こちらはまず、重大事故時に使用する、通す施設になりますのでそういった意味を含みますのと、あとはデービーSA時ですね。
1:20:02	結果的には温度等は変わりませんが、SA時というものも想定した上での評価という、
1:20:10	意味合いでこちらの記載をさせていただいております。以上です。
1:20:14	規制庁のハツリですはいわかりました特にこの
1:20:18	重大事故時の荷重、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:21	というのが特別あるとか、
1:20:23	重大事故時にはこういう支障な支障条件になってるから、通常とは違った支障条件になってるとか、そういう意味ではないということですよね。どうぞ。
1:20:35	はい。中国電力宮岡です。ご認識の通りとなります。以上です。規制庁のハットリですはいわかりました。
1:20:41	それ等 41 ページの方に、
1:20:47	1000 最大せん断ひずみがー2000 マイクロに達したときの空気漏えい量を総算定してあるのは、
1:20:55	耐震気が、通常は 2000 マイクロを超えないように設計されてるので、保守的に 2000 マイクロになった時の空気漏えい量を算定しているということで理解すればよろしいですか。
1:21:12	中国電力の井岡です。こちらもご認識の通りとなります。以上です。
1:21:17	規制庁の服部です。それで、
1:21:19	例えば 4、丸さんの資料の 46 ページの方に、面外の表カー。
1:21:26	その中央制御室遮へい、
1:21:29	中央制御室待機室、
1:21:33	車遮へい
1:21:35	が設置された時の面外の評価をやってるんですけど、
1:21:38	これ年内の評価っていうのはどういう考えなんでしょうかどうぞ。
1:21:50	中国電力の畠です。面内の評価はせん断ひずみで評価をしております。以上です。規制庁の服部です。ここに、
1:21:59	回帰指数が設置された場合の面内の評価も入ってるんですか。どうぞ。
1:22:26	はい。中国電力の秦です。当面内の評価につきましてもこの対数が表入ったものとして考えて評価を実施しております。以上です。
1:22:37	規制庁の服部です。この資料には入ってますか。
1:22:47	中国電力の羽田ですこちらの資料はタイ品質の面外反力に対して等とあとは、壁の永年外観勢力に対して壁がどうかという、
1:23:00	そういう評価を実施しておりますので載せておりません。以上です。
1:23:05	規制庁の服部です直接的に聞くと、
1:23:09	待避室、
1:23:12	があった場合の面内の評価というのは、
1:23:15	建物の耐震性評価の中に含まれているということで理解すればいいんですか。どうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:27	はい。中国電力の羽田です。服部さんのご認識の通りでそう考えて実施しております。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました私から以上です。
1:23:45	規制庁津金です。規制庁側から、他コメントよろしいでしょうか。
1:23:51	はい。
1:23:51	中国電力の方から何か
1:23:55	説明等ありますでしょうか。
1:24:01	中国電力のイタイガワですこっちから、こちらからは特にございません。
1:24:07	規制庁鶴ですはい。それでは中央制御遮へいについての大气再編についてのヒアリングはここで一旦、
1:24:14	終わりとさせていただきます。この後、
1:24:17	次のヒアリング移りたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:24:24	はい、規制庁チギラれず、それでは、ヒアリングの方を再開いたします後半は、建物、構築物の耐震強度計算書で、チーズ、防護施設、
1:24:36	関係の説明となります。
1:24:39	それでは、すいません資料の裁判を再度していただきたいのとあと、詰め方について説明をお願いします。
1:24:52	中国電力の小玉です。
1:24:54	それでは資料を裁判いたします。
1:24:57	資料ナンバー4 としまして、N-S2 オカ 239 回 02。
1:25:03	続いてナンバー5 としまして、
1:25:06	N-S2 ほか 231 回 08。
1:25:10	No.6。
1:25:12	N-S2.201101 回 01。
1:25:17	ナンバー7 として、N-S2.301501 回 03。
1:25:23	ナンバー8 としてNS2.301515 回 01。
1:25:30	ナンバー9 として、N-S2.201112。
1:25:35	No.10 としてNS2.2。
1:25:38	1113
1:25:41	No.11 として、N-S2.301508。
1:25:46	No.12 として、N-S2.301509。
1:25:52	No.13 として、N-S2.301516。
1:25:57	No.14 としてNS2.301517、
1:26:03	No.15 として、N-Sに、
1:26:06	502708

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:08	タイ 1 に、
1:26:10	No.16 としてN-S2.2 タダウチ 411、
1:26:15	No.17 としてN-Sに、
1:26:18	円に 01414。
1:26:21	No.18 として、N-Sに、
1:26:23	補 0271090。
1:26:27	資料は以上になりますが、おそろいでしょうか。
1:26:30	はい。後ろの方確認できましたので。はい。それでは説明進め方についてもお願いします。
1:26:38	はい。中国電力の小玉です。それでは、進め方ですが、新規の説明になりますので、すべての図書、通して説明させていただいた後に、
1:26:50	質疑応答という流れで考えております。
1:26:54	説明時間は 30 分程度を予定しております。
1:26:57	よろしいでしょうか。
1:26:59	はい。規制庁チギラです。はい、その進め方をお願いします。それでは説明の方お願いいたします。
1:27:08	はい。
1:27:09	中国電力の小玉です。
1:27:11	それではちょっと初めにですね、
1:27:13	資料の、ちょっと気佐山誤りが数ヶ所ございましたので、
1:27:17	各
1:27:19	当初の説明の前にですね、訂正させていただきたいと思います。
1:27:24	まず、
1:27:25	資料ナンバー4 等、
1:27:28	英語になるんですけども、
1:27:30	ナンバー5-10 ページお願いします。
1:27:36	工認記載適正化箇所のナンバー、
1:27:40	152 から 164、こちらにつきましては、
1:27:44	方針書の関係になりますので、本来、
1:27:48	資料ナンバー4 に記載すべきところを間違えて、
1:27:52	ナンバー5 の方に記載しておりました。
1:27:55	次回提出のときに、
1:27:58	資料ナンバー5 の該当箇所を削除して、ナンバー4 に追記をさせていただきたいと思います。
1:28:07	それでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:08	衛藤。
1:28:10	資料の説明に入ります。
1:28:12	ナンバー4をお願いします。
1:28:15	こちら工認記載適正化箇所。
1:28:17	方針のほうになりますけども、
1:28:21	この年は誤記等の記載適正化。
1:28:25	のみになりますので、説明は割愛いたします。
1:28:31	続いてNo.7をNo. 5、お願いします。
1:28:36	こちら回答整理表のですね、工認記載適正化箇所がありますけども、
1:28:43	こちらにつきましては、計算書の説明に合わせて確認させていただきたいと思いますので、
1:28:50	その他誤記修正等に伴うものは、説明を割愛いたします。
1:28:57	続きまして、
1:28:59	ナンバー6をお願いします。
1:29:02	こちら、浸水防護施設の耐震性、計算結果になります。
1:29:08	この図書は、対象設備ごとに耐震重要度分類や、
1:29:13	耐震計算の、
1:29:14	記載箇所をまとめたものになります。
1:29:20	衛藤。
1:29:21	資料ナンバー7と8。
1:29:24	お願いします。
1:29:25	こちらは津波と溢水の、
1:29:28	強度計算の方針になります。
1:29:31	こちらにつきましては、
1:29:33	個別の強度計算書の方で、
1:29:36	評価方針等を説明いたしますので、本当書での、
1:29:40	説明は割愛いたします。
1:29:45	はい。続きまして、資料ナンバー9から14なのですが、防水駅頭水密扉の、
1:29:53	耐震性の計算書と強度計算書になります。
1:29:59	こちら評価方針はですね、およそ同じ流れになっておりますので、それぞれの耐震性の計算書の方で流れを説明させていただいて、
1:30:09	以降はですね、違いがあるところに説明させていただきます。
1:30:15	資料ナンバー9をお願いします。
1:30:18	防止駅の耐震性についての計算書になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:22	1 ページ。
1:30:23	お願いします。
1:30:27	概要になります。
1:30:29	本計算書は、機能維持の基本方針、並びに水防護に関する施設の詳細設計に基づいて、各防水液が設計用地震力に対して、
1:30:40	十分な構造強度を有していることを説明しております。
1:30:46	2 ページから 4 ページに、各防水撃の配置を示しております。
1:30:51	5 ページをお願いします。
1:30:55	防集益は、柱、梁の内、及び、ブレース等で補強した鋼板をコンクリート躯体にアンカーボルトにて固定した構造になっております。
1:31:08	それぞれ 15 ページにかけて防水劇の構造計画を示しております。
1:31:16	続いて、
1:31:17	16 ページをお願いします。
1:31:21	図の 2-2 に、防水液の耐震評価フローを示します。
1:31:25	固有値解析を実施しまして、設計用地震力を設定した後に、耐震評価を実施しています。
1:31:34	18 ページをお願いします。
1:31:37	タービン建物の復水系配管室、こちらの防水比木ですが、構造に応じて、解析モデルを設定して、固有振動数を算出しております。
1:31:49	柱及び胴部値は、13-1 に示すように、両単品の単純はりにモデル化して、こういう振動数を算出しています。
1:32:01	20 ページをお願いします。
1:32:04	表 3-2 に示す通り、固有振動数は 20Hz 以上であり、剛構造となっております。
1:32:12	21 ページをお願いします。
1:32:15	設計震度は、当該防水駅の
1:32:18	設置階と、
1:32:20	上階の最大値とし、水平方向につきましては、NS 方向と W 方向の大きいほうを用いております。
1:32:29	続いて 25 ページをお願いします。
1:32:34	荷重と荷重の組み合わせ。
1:32:37	こちらについては、
1:32:38	固定荷重と地震荷重を組み合わせます。
1:32:43	各部材の許容限界は、2627 ページに記載しております。
1:32:50	28 ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:53	本郷水撃の評価対象部位に生じる応力が、
1:32:58	許容限界以下であることを確認しています。
1:33:02	各部材は、単純ばりに置き換えて、それぞれ部材に消磁労力を、
1:33:08	算出しております。
1:33:12	続いて 35 ページ。
1:33:15	お願いします。
1:33:19	タービン建物、
1:33:21	復水器室北西側防水駅になります。
1:33:25	固有振動室、
1:33:27	固有振動数算出について、柱や梁は、
1:33:32	その寸法や形状を踏まえて、
1:33:34	36 ページに示すような、
1:33:36	はり要素でモデル化した解析モデルを用いております。
1:33:42	38 ページ、お願いします。
1:33:46	固有振動数の算出結果を示します。
1:33:50	NS方向については、20Hzを、
1:33:53	下回っておりますので、
1:33:57	次の 39 ページに記載してます通り、
1:34:00	設計を、応答スペクトルの作成方針、
1:34:04	こちらに基づいて設計用地震力を設定しております。
1:34:10	はい。
1:34:12	で 81 ページを、
1:34:14	お願いします。
1:34:19	藤。タービン建物の復水器室の北側の防水液こちら能力算定。
1:34:26	になりますけども、
1:34:27	梁及び水平ブレースがですね、
1:34:32	折れ曲がった計上しておりますので、この 156 に示す通り、
1:34:38	或いは水平ブレースをはり要素にモデル化をして、二次元フレーム解析により応力を算定しております。
1:34:47	で、121 ページお願いします。
1:34:56	こちらの、
1:34:58	防水液の固有振動数の算出はですね、水平方向につきましては、
1:35:03	燃料移送ポンプエリアの竜巻防護対策設備の、
1:35:06	耐震性についての計算書、
1:35:09	こちらに示す地震応答解析モデルを用いています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:13	また、鉛直方向については、
1:35:16	総合性を柱軸剛性とした解析モデルをお持ちしています。
1:35:23	136 ページお願いします。
1:35:28	と。
1:35:29	本郷セイキはですね屋外に設置されていますので、荷重の組み合わせは、地震荷重に加えて、積雪荷重及び風荷重を考慮しています。
1:35:41	141 ページお願いします。
1:35:45	柱梁及びブレースに生じる応力の算定ですが、
1:35:50	A-142 ページに示す解析戻りを用いた 3 次元の静的性、静的線形応力解析に基づいて行っております。
1:36:01	はい。続いて、
1:36:04	176 ページお願いします。
1:36:11	衛藤。
1:36:14	10 章から 11 章、取水槽の
1:36:17	海水ポンプエリア防護対策設備の没水液位なりますけども、こちらに記載の部署に、
1:36:25	結果を示しておりますので、こちら後程ご説明いたします。
1:36:30	177 ページをお願いします。
1:36:33	視覚防水液の評価結果です。
1:36:36	発生応力または荷重が許容限界を下回っていることから、
1:36:40	各防収益が構造健全性を有していることを確認しました。
1:36:47	はい。
1:36:48	続いて資料No.10 の、
1:36:51	ですね。
1:36:53	お願いします。1 ページになります。
1:36:55	水密扉の耐震性についての計算書。
1:37:02	こちら 1 ページ概要ですけども、
1:37:06	この本計算書、機能維持の基本方針や、水防護に関する施設の詳細設計に基づいて、
1:37:13	記載の、この水密扉が設計地震力に対して十分な構造強度や止水性を有していることを説明しております。
1:37:21	2 ページから、
1:37:23	18 ページにかけてですね、対象の水密扉一覧や、
1:37:28	設置位置図を示しております。
1:37:32	10 ページお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:37	水密扉の構造は、
1:37:39	タイプ 1 からタイプ 5 に区分しております、
1:37:42	各水密扉の構造計画を、
1:37:46	示しております。
1:37:49	26 ページをお願いします。
1:37:54	水密扉の耐震評価フローを示しています。
1:37:57	固有値解析を行って、設計用地震力を設定した後、耐震評価を実施します。
1:38:05	で、40 ページをお願いします。
1:38:10	各水密扉の構造に応じて、固有値解析モデルを示しています。
1:38:17	水密扉の固有振動数は、いずれも 20Hz 以上であり、剛構造であることを確認しております。
1:38:27	59 ページをお願いします。
1:38:32	設計用地震力ですが、
1:38:34	水密扉の設置床とその上階のうちの衛藤気泡の値を用いて、背
1:38:42	設定しております。
1:38:45	はい、じゃあ、62 ページをお願いします。
1:38:50	水密扉のタイプ 1 になります。
1:38:53	こちらは片開きの扉で、門部が、
1:38:57	差し込み型のタイプになります。
1:39:01	評価対象部位としては、人事部、門部、アンカーボルトとなります。
1:39:06	また、結果が厳しい評価対象部位を有する、水密扉を代表として評価しております、代表扉の結果を示しております。
1:39:17	65 ページをお願いします。
1:39:23	荷重と荷重の組み合わせにつきましては、固定荷重と、
1:39:28	地震荷重を組み合わせします。
1:39:34	86 ページをお願いします。
1:39:37	水密扉のタイプ 2 タイプになります。こちらも平キドで、こちら門分が回転型のタイプとなります。
1:39:47	こちらも、
1:39:49	結果が厳しい評価対象部位を有する水密扉と、
1:39:53	あと、
1:39:54	原子炉建物の中で、結果厳しいものを代表として評価してまして、二つの扉の結果を示しております。
1:40:03	107 ページお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:09	水密扉のタイプさあになります。お開きのタイプで、門がレバー型のタイプとなります。
1:40:18	続いて 125 ページ。
1:40:20	お願いします。
1:40:23	水密扉のタイプ 4、
1:40:25	これはこれまでの縦開き扉とは異なって、スライド式の扉になります。
1:40:32	126 ページに、
1:40:35	こちらのスライド型の構造図を示しております。
1:40:41	141 ページをお願いします。
1:40:48	こちらは外部、縦柱固定ボルトンショウジュ労力ですが、外部縦橋だと。
1:40:55	水密扉と辺りオノ支柱モデル化して、二次元フレーム解析により算定をしております。
1:41:04	続いて 154 ページお願いします。
1:41:09	水密扉のタイプ 5 となります。
1:41:11	パネル部や、
1:41:13	あたりを主チューブを有するタイプということで、こちら扉部に扉の部分に関しては、タイプ 1 とタイプ 2 で評価をしておりますので、
1:41:23	このタイプ 5 では、パネル部と地中部を評価対象部位としております。
1:41:29	またパネル部と支柱部については、それぞれ結果が厳しいところを代表として評価しておりますので、
1:41:36	二つの結果をしております。
1:41:40	177 ページお願いします。
1:41:45	結果になりますが、
1:41:48	発生応力が許容限界値以下であることを確認しましたので、構造健全性を有することを確認しております。
1:41:58	続きまして、資料のナンバー11、
1:42:03	お願いします。没水駅の
1:42:06	強度計算書になります。
1:42:10	資料No.11-1 ページです。お願いします。
1:42:14	ちょっと概要になりますが、本計算書は、ツナミですね、への配慮が必要な施設の、
1:42:20	強度計算書の基本方針に基づいて、記載の防水液が十分な、
1:42:25	健全性及び止水性を有していることを説明しております。
1:42:31	10 ページお願いします。
1:42:35	12-2 に、強度評価フローを示しています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:38	余震の設計震度や荷重及び荷重の組み合わせを踏まえて、
1:42:43	各評価対象部位の力を算定を実施します。
1:42:48	はい。15 ページお願いします。
1:42:53	タービン建物の 9 水系配管室防水液の強度強強度評価に用いる荷重の組み合わせですが、
1:43:01	衛生水圧荷重と余震荷重を考慮します。
1:43:05	静水圧荷重は、
1:43:07	水の密度に当該部分の水圧さえを高さに乗じて算出していますが、
1:43:12	このとき最大な施設圧が、最大静水圧が当分布に作用するものとして、安全側に評価しています。
1:43:23	16 ページお願いします。
1:43:26	余震荷重ですが、弾性設計を地震動SDによる地震力等、及び、動水圧を考慮します。
1:43:34	余震震度は 3 表 3-3 に示しています。
1:43:38	動水圧荷重については、水道施設耐震工法指針、こちらに基づいて算出しまして、
1:43:45	最大の動水圧が、分布に作用するものとして、安全側に評価しております。
1:43:53	79 ページ。
1:43:55	お願いします。
1:44:00	こちらは衛藤。
1:44:02	タービン建物小関室の北東側の防水駅になりますが、
1:44:07	ちょっと他の壁と比べて、
1:44:10	他の壁がですね壁面と床面に固定されている。
1:44:14	に対して、この本防水駅は壁面のみに固定されとって、宙に浮いている状態で設置されておりますので、
1:44:22	底面の
1:44:24	そこですねその鋼板と値段が受ける、鉛直方向の水圧も考慮した評価としております。
1:44:32	117 ページをお願いします。
1:44:38	評価結果ですが、発生応力が許容限界以下であることから、確保収益が構造健全性を有していることを確認しております。
1:44:50	はい。
1:44:51	続きまして資料。
1:44:53	No.12。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:55	お願いします。
1:44:56	水密扉の強度計算書になります。
1:45:00	で、初めにちょっと本当書について、記載がヤマネ記載の誤りがありましたので、
1:45:06	申し訳ありません。
1:45:09	ありという感じをですね。
1:45:11	アライという文字を漢字で表現したままになっておりまして、
1:45:16	ひらがなのですねアライにですね、
1:45:20	ちょっと次回の時に訂正化させていただきたいと思います。
1:45:25	はい。
1:45:26	では、1ページをお願いします。
1:45:31	概要ですが、
1:45:32	本資料は、津波への配慮が必要な施設の、
1:45:36	強度計算の基本方針、こちらに基づいて、水密扉が十分な構造健全性 止水性を有していることを説明しております。
1:45:47	9ページお願いします。
1:45:50	水密扉の強度評価においてはですね、その構造を踏まえて、静水圧荷 重、
1:45:56	風荷重及び不振に伴う荷重の
1:46:00	採用方向や伝達経路を考慮して、
1:46:03	評価対象部位を設定しております。
1:46:07	36ページをお願いします。
1:46:13	こちら扉板に生じる応力ですが、等分荷重を受ける4辺固定の計版とし て算定しております。
1:46:22	このとき扉型に失敗をする施設河成水圧荷重等水圧荷重が、頭部に作 用するものとして評価をしております。
1:46:33	はい。99ページお願いします。
1:46:38	最後、結果になります。
1:46:41	比留間発生応力が許容限界値以下であることから、水密扉の構造健全 性を有することを確認しております。
1:46:52	はい。続いて資料No.13、
1:46:56	お願いします。棒水撃の強度計算書排水の。
1:47:01	関係になります。
1:47:03	申し訳ありませんがちょっと、こちらの年も誤りがありました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:09	本当篠田以上設備としてですね、ディーゼル燃料移送ポンプで墓石等、水槽の
1:47:16	ポンプエリアの防セイキがあり、あるんですが、ちょっと正式な名称として、その紡績の前にですね防護対策設備という単語が入るんですが、ちょっと、
1:47:28	記載、記載漏れしておりました。また、
1:47:32	次の資料No.14 の水密扉の、
1:47:35	強度計算書についてもちょっと同様な適正ものがありました申し訳ありません、次回提出のときに、適正化いたします。
1:47:42	はい。それでは、
1:47:45	説明に入ります。
1:47:48	資料ナンバー13-1 ページお願いします。
1:47:51	概要ですが、本計算書は、溢水への配慮が必要な施設の強度計算書の方針に基づいて、防水液が、
1:48:01	構造健全性を維持することを説明しております。
1:48:05	9 ページお願いします。
1:48:10	12 のように強度評価フローを示しています。荷重の組み合わせ、許容限界を設定して、断面算定を行って、各部材の健全性評価を実施します。
1:48:22	17 ページお願いします。
1:48:28	強度評価に用いている荷重ですが、積雪荷重、
1:48:33	風荷重性水圧荷重を考慮しております。
1:48:37	19 ページをお願いします。
1:48:40	本保収益は、針柱及びブレースについては、
1:48:46	解析モデルを用いた3次元静的成形、
1:48:49	応力解析に基づいて行い、鋼板及び動物につきましては、評価式に基づいて行っております。
1:48:58	61 ページお願いします。
1:49:02	いえ。
1:49:03	田窪収益の評価結果を示しています。
1:49:07	長谷堀尾空。
1:49:08	が許容限界以下であって、一緒に油性水圧荷重等に対して十分な構造強度を有していることを確認しております。
1:49:19	はい。
1:49:21	続いて資料No.14 お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:24	水密扉の。
1:49:26	強度計算書の溢水の方になります。
1:49:29	1 ページお願いします。
1:49:31	概要ですが、本資料は、SM配慮が必要な施設の強度計算書の方針に基づいて、
1:49:38	各水密扉が溢水による静水圧荷重に対して、
1:49:42	姿勢の維持を考慮して主要な構造部材が構造健全性を維持することを説明しております。
1:49:48	21 ページお願いします。
1:49:52	各水密扉の強度評価におきまして、
1:49:56	その扉の構造を踏まえて、静水圧荷重の
1:50:00	採用方向や伝達経路を考慮して、評価対象部位を設定しております。
1:50:06	78 ページをお願いします。
1:50:10	こちらタイプ 4 のパネル部のモデルを示しております。
1:50:14	柱梁や及び、
1:50:16	アンカーボルト能力算定は、梁要素でモデル化した解析モデルにより要素、応力を算定しています。
1:50:25	87 ページお願いします。
1:50:27	評価結果です。
1:50:29	発生応力度が許容限界値以下であることから、水密扉が構造健全性を有することを確認しております。
1:50:37	はい。
1:50:38	続いて資料No.15。
1:50:42	浸水防護施設の耐震性に関する補足説明資料、
1:50:45	になります。
1:50:47	13 ページお願いします。
1:50:51	と今回の停止三和化学の部分になります。
1:50:55	2.4. 2.25 ウエキの設計に関する補足説明と、
1:51:01	2.4. 3.2 の水密扉の補足説明、こちらにつきましては、
1:51:07	計算書に記載しています代表設備以外の設備について、評価条件と評価結果をお示したのになります。
1:51:17	はい。
1:51:18	江藤以降ちょっとここで説明者、
1:51:21	変わります。
1:51:29	はい。中国電力のサダタニです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:33	私の方からは資料No.16 から 18 についてご説明したいと思います。
1:51:41	資料、資料ナンバーの 16 をお願いします。
1:51:44	こちらの方では取水槽海水ポンプエリア防護対策設備の耐震性についてご説明します。
1:51:51	1 ページ目をお願いします。
1:51:54	概要になりますが、本計算書を波及的影響を及ぼす恐れのある下位クラスの耐震評価方針に基づきまして、
1:52:02	海水ポンプエリアの防護対策設備が原子炉補機海水ポンプ原子炉補機海水系配管等に対して、ハケ計器及ぼさないことを説明しております。
1:52:13	2 ページから 6 ページに位置図、構造の概要を示しております。
1:52:20	続いて 9 ページをお願いします。
1:52:23	こちら、海水ポンプエリア、防護対策設備のうち、区間 1、東西側の説明になります。
1:52:31	こちらでこういう振動数を構造に応じて算出しております。
1:52:36	いずれの部材も 20Hz 以上でありまして剛構造であることを確認しています。
1:52:43	続いて 17 ページをお願いします。
1:52:47	評価対象部位、荷重及び荷重の組み合わせ、許容限界を 17 ページから 21 ページにかけてお示ししています。
1:52:57	続いて 32 ページをお願いします。
1:53:01	菅市野東ニシノ耐震評価に用いる入力値を、32 ページから 34 ページにかけてお示しております。
1:53:12	続いて 35 から 60 ページにつきましては、区間 1 の南側のご説明になるんですけども、3 章と同様の記載になりますので説明の方は割愛させていただきます。
1:53:25	続いて 61 ページをお願いします。
1:53:29	こちらが防護対策設備区間 2 の説明になります。
1:53:33	これも前の章と同様の評価方法になるんですけども、
1:53:37	75 ページ。
1:53:40	にお示してます通り、
1:53:43	柱能力の算出については、フレーム解析で算出しているところですが、他の
1:53:50	エリアと違うところになります。
1:53:54	続きまして 87 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:59	こちらで結果をお示しております。発生応力動荷重が許容限界以下であることを確認しております。
1:54:06	続いて資料No.17をお願いします。
1:54:10	こちら、循環水ポンプエリア防護対策設備の耐震性についてとなっております。
1:54:17	1 ページ目をお願いします。
1:54:19	概要ですけれども、本計算書は波及的影響を、そのある下位クラスの耐震評価方針に基づいて、
1:54:26	こちらの設備が原子炉補機海水系配管等に対して波及的影響を及ぼさないことを説明しています。
1:54:34	2 ページから 5 ページにかけて、位置図、構造の概要をお示しております。
1:54:41	続いて 8 ページ。
1:54:43	お願いいたします。
1:54:45	8 ページから 17 ページにかけて、こういう振動数の算出、
1:54:50	評価対象部位、荷重の組み合わせ、許容限界、
1:54:55	お示しております。
1:54:58	続いて、18 から 22 ページのところ、評価対象部位の応力算定の方法について、
1:55:07	お示しています。
1:55:11	続いて 25 ページをお願いします。こちら結果になりまして、
1:55:16	こちらの設備の耐震評価結果で発生応力度、荷重が許容限界であることを確認しました。
1:55:26	すいませんここでページが戻りますが、3 ページをお願いします。
1:55:31	ここまでご説明したものが、図 2-2(1)の部にお示したものでございまして、B部、
1:55:42	でお示しておりますエリアの耐震評価に用いる入力値。
1:55:47	その結果につきましては資料ナンバー18。
1:55:51	補足説明資料にお示しております。
1:55:54	こちらからの説明は以上になります。
1:56:03	はい。規制庁、広井です。
1:56:05	ご説明ありがとうございました。
1:56:07	それでは、今、説明があった内容について確認する点がある方、お願いします。
1:56:17	規制庁の谷口です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:23	封水駅の
1:56:26	15 番の消せこれ補足資料なんですけれども、
1:56:32	この 15 番の補足資料の位置付けを見ると、
1:56:37	中に書いてあるのが、取水槽の除じん機のエリアの防水液だけ書いてあるの入力値だけ書いてあるんですけど、
1:56:45	その前の計算書関係はもっと、タービン建物とかポンプエリアのやつとかが入ってるんですけど、
1:56:55	ここにこれだけ書いたのはどういう、何か意図があるんでしょうか。
1:57:02	中国電力のコウゲです。防水駅伊井首藤エリア以外のものにつきましてはすべて耐震計算書強度計算書の方で、結果を記載しておりますのでそこに載っていないものが恒設にあるしそのエリアの
1:57:18	防水劇のみということで、その部分だけを記載しております。以上です。
1:57:24	その辺の幾何補足資料での書き方た今、今みたいな話を、
1:57:31	きちっと附属資料の方に書いておいていただけないかなと思ってんですけどいかがでしょうか。
1:57:40	はい。中国電力の高松です。
1:57:44	15 番の資料のですね、
1:57:46	1 ページの冒頭にですねちょっとその辺りを触れさせていただいてるんですけど、ちょっと言葉足らずのところはですね、次回補足させていただこうと思います。
1:57:57	1 ポツのですね、一般事項のですね、
1:58:02	一番最後のくだりですかね、
1:58:06	1、1.1 の検討をタイ消防水撃一覧に示す、取水槽、除じん機エリア防水駅、北川区間-1、等の評価に必要な、
1:58:18	入力値及び評価結果を説明するものであるということで、
1:58:22	次のですね、1.1 のところに、一覧表をつけておりまして、※1 とか※2 とかですね※3 を打っております。
1:58:33	この※を振ってある、対象区間についてはですねその上段のですね、耐震計算書に記載はさせていただいてるんですけど、
1:58:43	それ以外の※を振ってない区間ですね、これが若干防水劇の構造が、区間によって違いまして、そこを入力値とですね、結果を網羅するべきだろうということで、
1:58:55	この 3、補足説明 15 番を作っておりますので、ちょっとその辺りが、言葉足らずのところをちょっと今後、次回拡充させていただこうと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:04	うん。わかりました。それはわかるようにしておいてください。
1:59:12	それから、
1:59:15	今回の 15 番の資料をちょっと見ている中で、
1:59:18	ちょっと気になるのは、構造計画、具体的にこういう行動計画ですよって書いてあるんですけど、
1:59:26	具体的な使用材料と使用についての表現がここにはないんです。
1:59:32	今までの資料、それ以外のところの、
1:59:38	計算書関係のところ、例えば資料 9 とかは、
1:59:42	一応使用材料とお正月使用材料及び使用がきっちり書いてあるんですけど、
1:59:49	この資料とか書いてないので、
1:59:52	その辺どうしてか教えてください。
1:59:59	はい。中国電力の高松です。えっとですねこの補足説明の方が、他の水密扉とか防水兵器の補足説明共通なんですけども、
2:00:10	その構造概要とですね、あと評価に関わる入力値とですね、検定結果っていうふうな構成にしておりますと表現、記載の横串を通すっていう観点で、
2:00:23	今回、この 15 番の資料も同様に、構造概要と、入力値と結果というふうな構成で示させていただきました。
2:00:34	ちょっとそれ以外の先ほどご指摘いただきました、主要ですね、在庫構造の仕様に関わるところがどうなのかっていうところが、
2:00:46	実際ちょっと 15 番の中では少なく見えておりませんで、北田、基本的にはですね防水液位の耐震計算書を、
2:00:56	お示しておりますですね、9 番、9 番の資料と、材料構成は基本的には一緒になっておりますので、それと同様というふうにご理解いただければいいかと思います。記載がちょっとその不足してるところは、ちょっと工夫、拡充を考えたいと思います。
2:01:12	以上です。はい。基本的には、下の追加をしてくださいよろしくお願いします。
2:01:18	それから、僕電力鷹野です。承知しました。はい。よろしくお願いします。それから、今の資料の、
2:01:25	構造図の、
2:01:28	あんたボール等の正面図とか、それから衛藤。
2:01:34	立面とでは、一応アンカーボルトの表示があるんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:38	実際どういうアンカーになってるのかと、これも、他の計算書では平面図が入ってたりとかしてるので、
2:01:47	アンカーボルトがどういうふうになったのかっていうのはもう見える。
2:01:51	配置の平面図か何かを入れておいていただけないかなと思ったんですがいかがでしょうか。
2:02:01	はい。中国電力、高松です。承知しました。15番の資料について安価配置の平面図、これわかるように、示そうと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。以上です。
2:02:15	はい。規制庁日浦です。他に確認する方。はい。
2:02:25	規制庁の服部です。
2:02:35	9番の資料お願いします。
2:02:46	規制庁のハツリですすみませんちょっと失念してしまったので、
2:02:50	ちょっと説明をいただければちょっとありがたいんですけど。
2:02:55	耐震Cワンクラス設備及び耐震C2クラス設備に分類されるってあるんですけども、
2:03:03	これはどういうことを意図している。
2:03:06	記載なんでしょうか。
2:03:21	中国電力の小玉です。耐震C1クラス設備といいますのは、波及影響に該当する。
2:03:28	設備を、
2:03:29	となりまして、耐震Cクラス設備につきましては、江藤SE。
2:03:35	城を期待している設備ということで、Ss機能維持としている設備になります。以上です。
2:03:58	ほあ、規制庁チギラです。すみません。今の話なんですけど、この1ポツの概要のところ、
2:04:07	機能維持の基本方針とかあとユリ防護に関する施設の詳細設計に基づいてって書いてあるんですけど、ここで今の話って書かれてたりとかするんですかね。
2:04:31	少々お待ちください。
2:04:52	藤
2:04:54	中国電力の小玉です。
2:04:57	えっとですね、ちょっと当初の名称だと記憶ないんですけども
2:05:03	こちらの、
2:05:06	タイ試飲機能維持の基本方針に関連する当初ですね、
2:05:13	施設の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:15	耐震重要度分類を、設備ごとに、
2:05:19	まとめた図書がありまして、そちらの方にはですね、CとかCとかですね、そういう記載をちゃんと整理したものを作成してお出ししております。はい。以上です。
2:05:31	はい。上位のタイ人の基本方針の、そのところに、どこかの図書館にはこのC案とか市立ってというのが定義されているということで理解すればよろしいでしょうか。
2:05:47	中国電力の小玉です。はい。ちょっとそちらの、
2:05:50	関係がわかるようにですね、ちょっと記載を、ちょっと追加をさせていただければと思います。はい。以上です。
2:06:00	規制庁のハットリですはいわかりました。
2:06:04	次 38 ページをお願いします。
2:06:07	これは単なる掲載だけの話なんですけれども、
2:06:11	前に出てきたものは、この固有振動数の評価をやった上で、
2:06:16	剛構造であることを確認してるとか何かそういう記載があるんですけど、
2:06:23	20Hzを下回るものが出てきたときは、そういう記載がないんですけど、
2:06:29	それはどうしてなのでしょう。
2:06:42	中国電力のコウゲです。利率を下回る、XYZである1号が、20ヶ月を下回ってしまうと。
2:06:54	全体として剛構造っていうふうには言えなくなるといいますので、ここにはそういった記載はありません。ただその次の
2:07:05	39 ページの方で、これをフォローいたしまして
2:07:10	20Hz以下の方につきましては、床応答スペクトルのから設定した震度を記載するというそういう構成にしております以上です。
2:07:22	規制庁の服部ですということはその前に出てきてるものは、全体構造として剛構造ですって言うだけなんです。私の認識では、
2:07:34	カクウその方向とカーに対して剛構造だったらZPA。
2:07:42	流構造ならオートスペクトル。
2:07:45	を使うので、そこに引き継ぐために、
2:07:47	5重判定をしようと思っていて、
2:07:50	前のやつは剛構造だったので、全部剛構造だったので全部ZPAですよと。
2:07:56	これについては、こここれは剛構造5構造とみなせるのでZPAを使って、こっちは中構造になるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:07	用途スペクトルを使うんですよという次のその席を地震力につなげるような記載なのかなと思ったんですけど、そういう意味じゃないってことですかどうぞ。
2:08:19	中国電力のコウゲです。服部さんおっしゃる通りで、郷構造である場合には、そういったつなげる記載がされていると思います。
2:08:29	それは引き継ぎを簡単に表現できる場合はそういったことを記載していると。
2:08:41	ということだと思っていて、
2:08:46	3名、
2:08:48	38 ページの方とかに報告ごとにこっちはこうこっちはこうみたいのところまでは、書かないのかなと思ってこの資料は作りました。以上です。
2:09:00	規制庁のハットリですはいわかりましたが先行もこんな感じということで理解すればいいですか。
2:09:08	中国電力のコウゲです。先行ですねこの水密扉関係防水費関係で、20Hzを下回ってっていうものがなかった。
2:09:18	先行とはちょっと違ったことになってます以上です。
2:09:27	規制庁の服部ですはい私が気にしてたのは停車だけの話で、中が入ってくると10って書かないんだよってというのが、何か少し、
2:09:36	恣意的にもう聞こえんも4読めたので、
2:09:40	何か少し高低差いが、
2:09:43	統一されてないなあというだけの話で、中身がどうのこうのという話ではなかったの、わかりましたので、それは理解をしたということにしておきます。
2:09:55	では99ページお願いします。
2:10:02	ちょっと構造について確認なんですけど、
2:10:05	許可のときの私の認識では、
2:10:09	防水劇というのは、
2:10:11	建物の床スラブの上に乗っている。
2:10:17	という、ずっとそういうふうに使っていたんですけど、
2:10:21	これはあれですかね。
2:10:23	建物の床スラブというのは下の方にあって、
2:10:30	タービン建物
2:10:31	壁カラー
2:10:33	でできた部分だけを中区で、
2:10:37	困って、そこに部屋を作って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:44	浸水防護重点化範囲を作ってるというそういうイメージですかどうぞ。
2:10:50	中国電力のコウゲです羽鳥さんおっしゃる通りでございます。施設するのに床から立ち上げた方が、設するのも容易なんですがこの下に移設不可能な、
2:11:03	機器等がございましたので、やむなくこういう中空に置いたというような形に移設しました。以上です。
2:11:11	規制庁のハットリですはいわかりました。
2:11:14	ということはこれあれですね。下からも漏れないようにきちっと処理されてるってことですね。
2:11:21	中国電力のコウゲです。先ほどの 99 ページにありましたけれど左上の図が正面図になりまして下に後半、
2:11:30	を設けております。これは側面の後半と同じようにねダアー等で震災で受けて水圧を受けれるようにしております。
2:11:41	で、中空抜いているのはこの横暴水撃のみでその他タービン復水器エリアにその他二つほどありますが、それらは床から立っている構造でございます。以上です。
2:11:56	規制庁の服部ですはい。確認しました。
2:11:59	あと 142 ページをお願いします。
2:12:04	ここの解析モデルなんですけど、
2:12:07	これあれですか後半についてはシェル要素でモデル化してるんですかどうぞ。
2:12:13	中国電力の向後です。その通りでございますシェルでモデル化しております以上です。
2:12:19	規制庁の服部です。
2:12:20	ということは、もうこのモデルに荷重をかけると。
2:12:24	シェル要素にも荷重、
2:12:27	がー
2:12:29	えっと回ってシェル要素でも荷重を分担するということでもよろしいですか。
2:12:35	中国電力のコウゲです。
2:12:38	藤堂甲斐モデルとかにもこの後半んの剛性を考慮したというような構成評価をしております、それと合わせるために、
2:12:50	シェル要素を貼っております。このシェル要素にも応力が発生しておりますが、この後半は二次部材胴部時であるとかそういったもので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:05	現実には支持されておるんですけど、このモデルには認知部材入力がモデル化しておりません。ですので、当日現象とし、
2:13:16	ということは、少し違った応力状態になると思っておりまして、力を使った検定はしておりません。ただこれが弾性解析であるということの前提が、この後半の男性性、これ、この後半も男性であるということが、
2:13:31	前提であると思っておりますので解析内容のチェックの中では、ここに広範に負担する能力が、応力を考慮しても、
2:13:43	後半が大丈夫であるということは確認しています。発生中は剪断と引っ張り等が出ますが、わずかでございます。以上です。
2:13:53	規制庁のハットリですはい
2:13:57	何だろう、堂々板東どうどう部材で囲われてるっていうのは、139 ページを見ればわかるんですけども、
2:14:06	139 ページではこれ面外、
2:14:09	の評価をやって、面外この後半能力を少し使っているということですよね。
2:14:16	同園稼働円で囲われているので、面外で、面外の応力を使ってる。
2:14:23	さらに 142 ページでは、面内で、
2:14:27	面内に対して荷重を受け持ってる、一部受け持ってるということになると、
2:14:34	本来であれば、
2:14:36	両方、
2:14:37	の、
2:14:39	5、合成応力みたいなものになるはずでちょっと後半の面内っていうのがちょっとピンとこないんですけど、
2:14:49	本来であればそういうことになっていて、
2:14:52	何か私のイメージでは、後半は後半面外先ほどの評価をやれば、あとはこの学校だけで、
2:15:00	全体の荷重を受け持って、評価するっていうのも一つ考えられたので、
2:15:08	後半の面内に対する応力の分担分をどうやって評価してるのかなということを知りたかったんですけど、今はまあまあそれは全く評価してないということでもよろしいでしょうか。
2:15:22	中国電力のコウゲです。この図書上は評価に入れておりません。ただ先ほどご説明しました通りここで発生した応力、
2:15:34	等先ほどの面外の公認計算であった曲げ応力に対する性応力等を重ね合わせても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:44	全く構造的に問題ないということを確認しております。以上です。
2:15:52	規制庁の服部ですその確認はどこでやってるんですか。
2:15:56	中国電力の郷ですこの図書ではやっておりません。
2:16:00	解析の妥当性っていう面もありますので
2:16:06	胴部ちいがモデル化されてないので、厳密には同じ条件というわけではないですけど、
2:16:16	3次元モデル出てきた応力とここでやっている面外の評価式による応力と重ね合わせた結果をお説の方に追記させていただくということでいかがでしょうか。以上です。
2:16:32	規制庁の服部ですはい等頭に入ればそれは構いません。ちょっと気になったのは、
2:16:41	窓口を非シェルモデルに入れるかどうかっていうのは保守的に入れないっていう考え方、設計のやり方もいろいろあるので、それはそれとして置いて
2:16:51	いずれにせよ、
2:16:52	両方で見てるということであれば、数、それがたとえ
2:16:59	余裕が非常に大きくあってもですね、一応やったんだというところの根拠というのは指名すべきかなと思ったので、
2:17:09	ちょっと確認をしました。恒設の方に入れていただくということであれば、それで構いませんのでよろしくお願いいたしますよろしいですか。
2:17:18	はい。中国電力のコウゲですはい了解いたしました。ちなみに数値も出しておまして
2:17:26	耐震計算の方では
2:17:29	曲げのみの評価で0.07の検定値が圧倒。
2:17:35	応力モデル解析モデルが出てきた。
2:17:39	せん断力、軸力を加えると検定値が0.12ぐらいになる。
2:17:43	というような結果は手元にありますのでこれを記載するようにいたします以上です。規制庁の服部ですわかりましたかなり余裕があるということもわかりましたので、了解です。
2:17:55	164ページをお願いします。
2:17:58	これ前も少しどけの、
2:18:03	ヒアリングの時に聞いたんですけど、
2:18:06	これかなり多くのところで、
2:18:09	異種金属接合がされてるということなんですよ。
2:18:13	今回、アンカーボルトはサスですということで、おそらく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:18	普通の部材はSS400 だと思うんですけど、
2:18:21	通常一週、金属接合って、一般的にはやらないし、
2:18:28	ものの文献ではやってもあんまり腐食しないよという文献もあるんですけど、
2:18:34	一般的にはやらないと思っています。
2:18:37	今回かなり多くのところで異種金属接合がされてるので、
2:18:42	この異種金属接合に対する考え方、
2:18:46	どかー。
2:18:48	それに対する防食処理の考え方とか、
2:18:53	そういうのを少しどっかに、
2:18:56	資料としてまとめていただくことはできますかどうぞ。
2:19:03	中国電力のコウゲです。
2:19:06	さす。
2:19:08	等、一般のカーボン高はクラッドで、被覆高とかでもう張り合わせたりしますので、
2:19:16	トクダんす。佐瀬とカーボン小との接合で、何らか全員腐食みたいなものが起こるといことはちょっとに一色としてはありません。
2:19:27	鋼材ってカーボン鉄とアルミを一種金属でやると、全員腐食するっていうようなことは、
2:19:38	認識がありますけれど、
2:19:41	冊数等、
2:19:43	ここへ丹そこでもそういう懸念があるということでしょうか。以上です。規制庁の江ハットリです。えっとですね私もそこまで詳しくなくて、
2:19:53	イントのインターネットでも調べてみたんですけど、
2:19:56	基本的にその異種金属接合が問題になるのはサスの場合、
2:20:01	というのが多くて、まさっと接合するのが普通の遅行だったりだとか先ほど言ったようなアルミだったとかアルミだとか、そういういろんな材料があるんですけど、
2:20:14	それに対して、どれぐらい腐食するかとか、どういうふうになってるかという実験をやってるとかそういう文献もあったりとかしてみたんですけど、
2:20:23	一般的にわあ、その相手が一すこ観測であろうと、
2:20:29	アルミであろうと、他の分、マンガン鉱とかそういうのでであろうと。
2:20:35	異種金属接合というものの自体をしなないんじゃないかなと私はそういう認識でずっと今までいたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:41	ちょっと違和感があったんですけど。
2:20:44	それはもう今の嶋出野発電所の中では、
2:20:49	通常で行われてるということでよろしいですか。
2:20:53	その物の本によれば、通常異種金属接合をすると、電池ができる、電池ができるとそこが腐食してくるということで、特に、
2:21:03	事例としては、いろいろ見ると、
2:21:08	保守管理が大変非常に難しいところで、例えば水道管、
2:21:14	水道管の短そこにそのボルトを使っていて、そこが腐食して問題になってるという問題も、
2:21:21	文献としては出てますので、
2:21:23	炭素コウダからいいとかそういう認識では少なかったんですが、それは中国電力とは少し違うということでよろしいですか。
2:21:35	中国電力のコウゲです。はい申し訳ありません十分な危険は今のところ有しおりませんけれど、例えばですね扉一般の扉。
2:21:50	鉄扉ですけど、そういったものも
2:21:55	海水がかかるようなところは、下半分を指す上半分オカ文庫、それを溶接したような、
2:22:04	扉も島根とかでは使っておりますが、そういったところにつきましても特段そこで
2:22:14	高齢化が進むとかそういう事象は確認したこともございません。あまりその注意をしておりますませんでしたけれども
2:22:24	そういうことでございますがいかがでしょうか。規制庁の服部ですわかりましたちょっとこれについてはですね、私がそういうふうにならずとそういうふうな、
2:22:35	認識をしていたということと、それについてちょっとインターネットとかで調べたらそういうのが載っていたということで、
2:22:43	精密扉の方も、
2:22:45	ボルトだけ。
2:22:47	サスを使ってるとかそういうのも対応されてるというのは私も今回の資料の中で見てますので、
2:22:53	それも含めてなんです、これはどうこうとする、するわけじゃないんですけどこないだもちょっと時計の方に入ったんですけど、もう一度ちょっと中国電力内でもちょっと調べてもらって、
2:23:04	本当にそれぞれで問題ないのかっていうことを、もう1回だけちょっと調べといてもらっていいですか。どうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:13	中国電力のコウゲですはいそういう視点で少し調べてみます。以上です。規制庁の服部ですはいわかりましたこれはコメントとしますのでよろしくお願いします。
2:23:23	あと 15 番の資料をお願いし、ごめんなさい。
2:23:28	12 番の資料をお願いします。
2:23:33	この、ここに 10 ページと 11 ページとあるんですけど、
2:23:38	水密扉の一番から 4 番については、
2:23:42	設計震度を設定していると。
2:23:46	5 番、6 番 7 番については、設計震度を設定していないんですけども、
2:23:52	これは何か違いがあるんでしたっけ。
2:24:05	すいません中国電力高松です。ちょっと少々お待ちいただけますか。
2:24:39	中国電力の高松です。すいません服部さんが今おっしゃっていただいたのは水密扉の耐震計算に度動水圧を考慮してないのはなぜかっていうことです。規制庁のハツトリですみませんもう一度言います 12 番の資料。
2:24:57	これじゃ、資料番号間違えましたかね。
2:25:01	12 番の資料で、
2:25:04	あれ待ってくださいよこれ 12 番でしょうね本当に、
2:25:08	12 番の資料すいませんN-S2 の添 3-015-09 です。
2:25:14	この資料の 10 ページと 11 ページを見比べると、
2:25:20	10 ページのフローチャートには設計震度の設定というのが入ってるんですね。
2:25:26	11 ページの方には入っていない。もちろん 12 ページの方にも入っていないんですけど、
2:25:32	なので、一番下、水密扉の一番から 4 番については、設計震度を設定して評価している。
2:25:41	水密扉 5 番から 7 番については、
2:25:45	設計震度を設定せずに評価してるというふうに読んだんですけど、
2:25:50	この違いは何ですかっていうのを聞いたかったんですがいかがですか。
2:25:56	中国電力のコウゲです。
2:26:00	こちらの当初は、基本的に強度経産省ですので
2:26:05	耐震、新耐震、地震荷重自体は検討外になります。ただ、水暑うが、この

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:17	1234 であります復水器エリア、タービン復水器エリアにつきましては、津波による流入、水が滞留すると考えておりました、
2:26:31	それで余震による動水圧がかかるのでズー、新野さんの方には、10 ページの方には、設計震度の設定が必要であったというものです。
2:26:44	ただその他の 1112 につきましては、これ一旦水位は上がって水密扉まで水が来ますけれどすぐにさ、水位が下がるということで動水圧との重畳は考えておりませんので、
2:27:01	設計震度の設定が行われていないというものでございます以上です。
2:27:07	規制庁のハットリですはいわかりましたそれが聞きたかったんで、確認しました。
2:27:12	では次お願いします。
2:27:17	あと、資料番号の 15 番お願いします。
2:27:26	規制庁の服部です。これは前回時計の時にも聞いたんですけど、
2:27:32	復水器エリア防水液についてわあ、
2:27:36	これ西側にも防錆利益があったというふうに認識しています。
2:27:43	添付の方にもないんですけど、
2:27:46	この西側の方水撃については、
2:27:49	何らかの評価はしてないんですか。どうぞ。
2:27:53	中国電力のコウゲです。西側の防水液位も評価をしております。例えば耐震計算書、資料、
2:28:05	資料 9 番。
2:28:07	なお、
2:28:14	つい、
2:28:15	てるよね。
2:28:17	の、
2:28:24	18 ページ。
2:28:30	すいません、18 ページに書いてある、タービン地下 1 階、復水系配管失望水撃、これがそのとびその壁に該当いたしまして、
2:28:43	配置といたしましては、同じ資料の 2 ページ、
2:28:48	なお、一番でございます。西側にある扉壁でございます。こちらで評価をしております。
2:29:00	それと強度計算書の方につきましても同じように、資料の 11 番でございますが、
2:29:11	2 ページに示しましてナンバーでいくと、一番の防水劇
2:29:18	でございます。この図書の中で評価を行っております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:26	規制庁の服部ですすみません、言い間違えました。東側でした。東側の防水駅、
2:29:33	については評価して、してないんですかっていうことを聞きたかったんですがいかがですか。
2:29:43	中国電力のコウゲです東側はございません。躯体で取水をしておりますので東側につけられる壁につけられる。
2:29:56	水密扉は水密扉のほうで評価をしております。以上です。
2:30:03	規制庁のハツリです。すみませんちょっと念のために再度確認するんですけど、
2:30:08	東側にも、
2:30:11	Sクラスエリアっていうのがあるんですよ。どうぞ。
2:30:16	中国電力のコウゲです東側にもございます。東側との境界につきましては、資料の
2:30:26	9番でいきますと、
2:30:29	あ、すみません、資料の10番の方が、
2:30:33	適当かと思えます。
2:30:38	資料の10番で、
2:30:44	ここか。
2:30:45	7ページ。
2:30:48	2、ございまして真ん中が復水器エリアになりまして、今これ、水密扉の位置ですけど、ナンバーの21番、ナンバーの22番。
2:31:00	ここをつなぐ、
2:31:03	壁でバウンダリをとりまして、それより東側には行かないようにしているというものでございますここに水密扉があります。復水器の基礎、
2:31:13	と等々この壁を
2:31:19	繋いであるんですね。
2:31:21	躯体側の方としましてはそこで
2:31:25	了解を取っております以上です。
2:31:28	規制庁のハツリですはい。私も少し勘違いをしてましたね。許可のときに、
2:31:34	この東側のところにも棒水撃をつけるんだなってずっと思い込んでいたので、ここはあれですね、コンクリートの躯体の壁がバウンダリになっているということで評価を、
2:31:47	評価をしてないってことなんですね。どうぞ。
2:31:50	中国電力のコウゲです。はい。その通りでございます以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:55	規制庁のハツリですはいわかりました。ちなみに、先ほどの 15 番の資料の、
2:32:02	この西側の一部もう、これ赤い太い線がなくて、
2:32:09	復水希望積という印がないんですけど、
2:32:13	ここも壁があるということで認識すればよろしいですか。どうぞ。
2:32:25	中国電力の郷です。すいません補説の方 15 番、No.15 は補説の方ですが、衛藤加藤さんおっしゃられる。
2:32:35	規制庁の半田です。すみません、ページ打ってなかったですね。
2:32:40	ページ 46 ページをお願いします。
2:33:04	中国電力のコウゲです。はいすいません。これは配管貫通。
2:33:12	貫通配管に
2:33:15	関する
2:33:18	資料ですでした、貫通部がないということで、
2:33:24	色は塗ってなかったと思いますけれど、浸水防護重点化範囲の点線が東側の方にもありますが、
2:33:36	ここでバウンダリーをとっているっていうのは、ここで御示しているものと思います。以上です。
2:33:44	規制庁の服部ですはい。
2:33:46	一緒そうかなと思ったんですけど、これ
2:33:50	循環水取水槽との境界部のところは、
2:33:55	配管貫通部がないのに、
2:33:58	印がちゃんとありますよね。
2:34:00	だから何かちょっと、何か違うのかなあ。
2:34:05	と思って今きでもともと
2:34:08	東側の方にもう防錆壁画構成の防水があると思っていたので、今ないということで躯体だということだったので、西側の方の、この赤が入ってないところも、
2:34:19	コンクリートの躯体がバウンダリーなのかなと思って聞いたんですが、
2:34:23	ここは、コンクリートの躯体がバウンダリーというわけではないということでもよろしいですか。
2:34:29	中国電力のコウゲです。今服部さんがおっしゃることはわかりました虫がわーにつきましても、赤線で
2:34:40	ものが、コーセーの今回新しく追加した防水液でございまして、それを北側にある防水へ北中央つまイーグルラインは、これはRCの壁でございましてのでここで連続して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:56	バウンダリをとっているということでございます。ですので東側の線が赤くないということとこの西側の一部が赤くないというものは来てIIの、コンクリート躯体を使っているところは色塗っていない。
2:35:12	今回、防水液として定義した設備の部分だけ、赤く塗っているというものでございます以上です。
2:35:20	規制庁のハットリですはいわかりました確認しました方。
2:35:26	市長の服部です。49 ページをお願いします。
2:35:33	の配管系の健全、構造健全性を確認する範囲っていうのがここにあるんですけど。
2:35:40	この図の 3-1 の、
2:35:44	この高さによる範囲D、
2:35:47	構造健全性を確保する範囲というのは、
2:35:51	これどういう意味があるのかなってちょっとわからなかったので、説明していただきたいんですが、いかがですか。
2:35:59	中国電力のコウゲです。衛藤申し上げます。今日はですねこの班会貫通部についてのコメント回答を予定しておったんですが、
2:36:11	ちょっと段取り悪くて資料をお送りするのが記念関係の規制庁さんの方に配布するのができなかったということで、今日のメニューからはズー説明から外れております。
2:36:25	ですので今担当者がおりませんし後日、またこのコメント回答は行う予定です以上です。
2:36:32	規制庁のハットリですはいわかりましたでは後日、このことは教えていただきたいと思います。
2:36:40	あと最後になりますが、
2:36:43	これは前回もどなたかが、規制庁側から聞いているかもしれないんですが、
2:36:48	16 番の資料の、
2:36:51	75 ページをお願いします。
2:36:56	例えば、例えば例として、この 75 ページを挙げたんですけども、
2:37:01	このHコート、1 コウノ、この接合部というのは、
2:37:07	これは突合せ溶接だと思うんですね。
2:37:13	この突合せ溶接については、
2:37:16	これすべて、
2:37:19	工場で、
2:37:21	溶接されてきてる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:23	ので、
2:37:26	許容限界の低減は考慮しない。
2:37:30	という理解でよろしいですか。
2:37:36	はい。中国電力の高松です。少々お時間いただけますでしょうか。すみません。
2:38:09	はい。中国電力の高松です。今鳥居さんにおっしゃっていただいた通り基本的には工場での溶接と考えておりました、提言とかその辺りは考慮しておりません。
2:38:21	それが実態かと思えますけど、改めてちょっと確認だけはさしていただくと思います。以上です。
2:38:26	規制庁のハットリですはいわかりました。ちなみになんですけど、ここにベルみたいな
2:38:35	資材があるんですけどここはマボルトとかでつないでると思うんですけど。
2:38:39	こういうところの評価というのはもう明らかに安全側だということで、
2:38:43	あまりこら辺のボルトの評価はしていないということでよろしいですか。
2:38:57	はい。中国電力の高松です。すみません、ちょっと確認なんですけど神戸ルーのボルトの評価というのは、具体的な場所をちょっと教えていただいてもよろしいでしょうか。
2:39:08	既設のハットリですすみませんちょっとベルではないんですけど、
2:39:11	図の 5-3 のところ
2:39:15	竜巻防止、
2:39:17	学校を支える、
2:39:23	なんでしょうね。
2:39:25	ブラケットみたいなものがついてると思うんですがわかりますか。
2:39:30	はい。わかります。
2:39:32	ここはおそらくボルトとかで接合されてると思うんですね。他にも多分ボルトで接合されてるところもあるかなという気がしていて、
2:39:43	そういうところの評価っていうのは、基本的にやってるのかなっていうことの事実確認だけさせていただきたいんですがいかがですか。
2:40:00	ちょっと図面確認しておりますので、少々お待ちください。
2:40:14	はい。中国電力の高松です。すみません先ほど竜巻防護ネット学校が乗るところのブラケットのつけ根部分だと思えますけど、ちょっとここが

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	溶接にアノしているかマボルト固定にしているかも含めましてちょっと確認しましてその
2:40:31	接合部の強度担保、この辺りはちょっと改めて次回ご説明させていただきたいと思います。以上です。
2:40:37	規制庁のハツリですはいわかりました
2:40:40	十分に保守性があるなというところで省いているところも多分あるかとは思いますが、
2:40:48	ちょっとそこら辺も含めて少し、確認だけしておいていただければと思います。よろしくお願ひします。私からは以上です。
2:40:57	はい。中国電力高松です今、羽鳥さんにおっしゃっていただいた通り十分な安全裕度確保がされているという前提で記載、省略しているところもございますので、その辺りを確認した上で、また改めてご説明します。以上です。
2:41:13	はい。規制庁の干明です。他に、この浸水防護施設関係で確認する。
2:41:21	点がある方、いらっしゃいますか。
2:41:26	よろしいですかね。
2:41:29	はい。
2:41:30	では事務部電力側から追加で何か説明等ありますか。
2:41:37	中国電力からはございません。
2:41:40	以上です。
2:41:42	はい、わかりました。それではこの今の浸水防護施設関係の
2:41:49	強度計算書と、耐震計算書、
2:41:53	に関するヒアリングについては以上としたいと思います。
2:41:57	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。